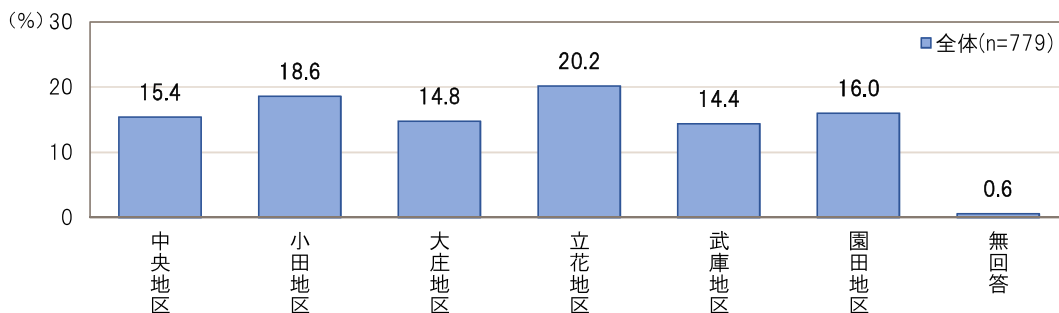


### (3) 担当区域が属する地区

- 担当区域が属する地区は、「立花地区」が20.2%と最も多く、次いで「小田地区」が18.6%、「園田地区」が16.0%、「中央地区」が15.4%、「大庄地区」が14.8%、「武庫地区」が14.4%となっています。



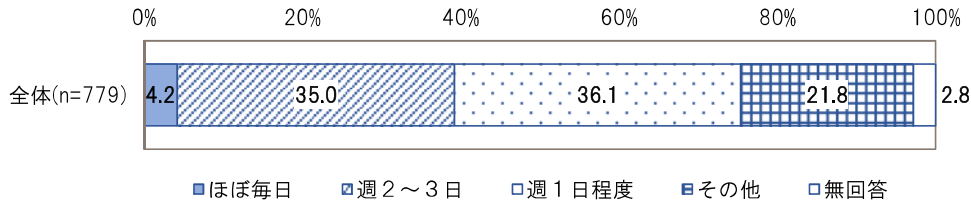
		(%)						
	回答者数 (人)	中央地区	小田地区	大庄地区	立花地区	武庫地区	園田地区	無回答
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>								
3年未満	169	14.8	13.0	17.8	<b>20.7</b>	13.0	19.5	1.2
3年以上 6年未満	185	17.8	<b>20.5</b>	13.5	17.8	11.9	17.8	0.5
6年以上 9年未満	122	14.8	15.6	14.8	<b>24.6</b>	15.6	14.8	-
9年以上 12年未満	127	14.2	<b>23.6</b>	11.8	17.3	18.1	14.2	0.8
12年以上 15年未満	67	16.4	16.4	11.9	<b>26.9</b>	17.9	10.4	-
15年以上	100	14.0	<b>24.0</b>	18.0	17.0	12.0	15.0	-

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

#### (4) 活動頻度

- 活動頻度は、「週1日程度」が36.1%と最も多く、次いで「週2～3日」が35.0%、「ほぼ毎日」が4.2%となっています。
- 年代別にみると、年代が高くなるほど活動頻度が増えていることがわかります。



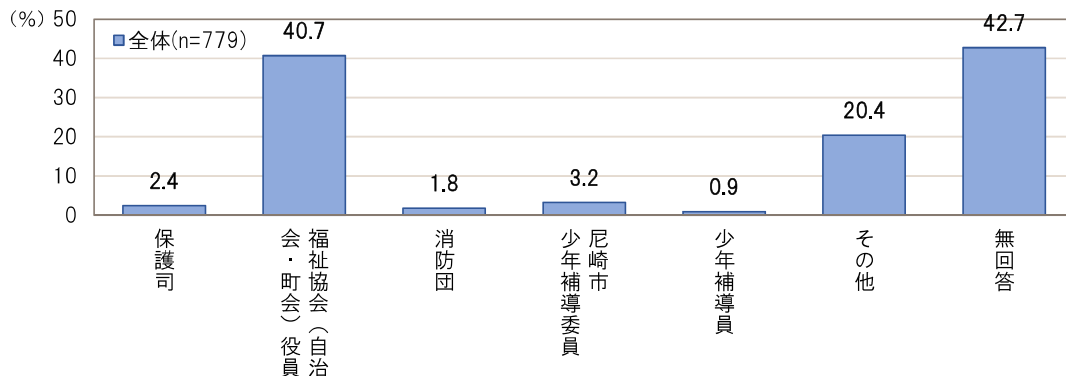
	回答者数 (人)	ほぼ毎日	週2～3日	週1日程度	その他	無回答
<b>年代別</b>						
30～50歳代	133	2.3	21.1	<b>42.9</b>	30.8	3.0
60歳代	320	2.8	33.4	<b>40.0</b>	21.6	2.2
70歳以上	324	6.5	<b>42.6</b>	29.3	18.5	3.1
<b>地区別</b>						
中央地区	120	5.8	<b>41.7</b>	31.7	19.2	1.7
小田地区	145	2.1	<b>40.7</b>	38.6	15.9	2.8
大庄地区	115	6.1	<b>42.6</b>	36.5	12.2	2.6
立花地区	157	7.0	<b>37.6</b>	35.0	19.7	0.6
武庫地区	112	1.8	21.4	33.9	<b>37.5</b>	5.4
園田地区	125	2.4	25.6	<b>40.0</b>	28.8	3.2

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

#### (5) 民生児童委員以外の地域での役割

- 民生児童委員以外の地域での役割は、「福祉協会（自治会・町会）役員」が40.7%と約4割を占めて最も多くなっています。
- 無回答の方を除くと、半数以上の方が、民生児童委員以外で何かしらの地域での役割を兼務していることがわかります。

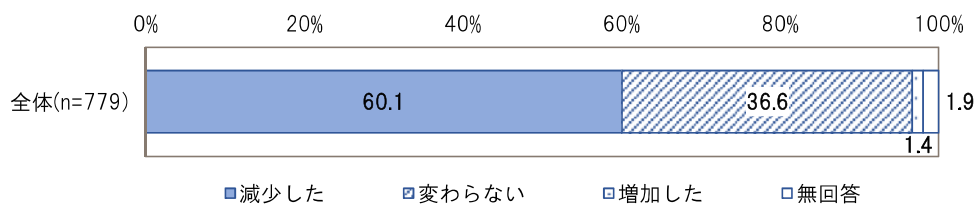


## 2. 新型コロナウイルス感染症の影響について

### (1) 新型コロナウイルス感染症による影響

#### ① 隣近所の住民とのコミュニケーション

- ・隣近所の住民とのコミュニケーションへの影響では、「減少した」が60.1%と約6割を占め、「変わらない」は36.6%となっています。
- ・年代別にみると、概ね、年代が低くなるほど「減少した」の割合が多くなる傾向がみられます。
- ・活動年数別にみると、概ね、活動年数が長くなるほど「変わらない」の割合が多くなる傾向がみられます。
- ・地区別にみると、中央地区、大庄地区で「変わらない」がやや多くなっています。
- ・活動頻度別にみると、概ね、活動頻度が多いほど「変わらない」の割合が多くなる傾向がみられます。



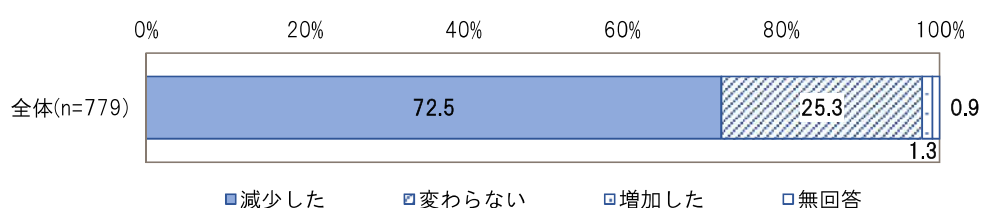
	回答者数 (人)	減少した	変わらない	増加した	無回答
(%)					
<b>年代別</b>					
30～50歳代	133	71.4	25.6	0.8	2.3
60歳代	320	61.3	35.3	1.3	2.2
70歳以上	324	54.0	42.6	1.9	1.5
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>					
3年未満	169	62.7	34.3	1.2	1.8
3年以上6年未満	185	60.0	35.7	3.2	1.1
6年以上9年未満	122	59.0	38.5	-	2.5
9年以上12年未満	127	62.2	34.6	0.8	2.4
12年以上15年未満	67	55.2	41.8	1.5	1.5
15年以上	100	56.0	40.0	1.0	3.0
<b>地区別</b>					
中央地区	120	47.5	46.7	2.5	3.3
小田地区	145	61.4	37.2	-	1.4
大庄地区	115	54.8	41.7	1.7	1.7
立花地区	157	64.3	32.5	1.9	1.3
武庫地区	112	67.9	30.4	-	1.8
園田地区	125	63.2	32.0	2.4	2.4
<b>活動頻度別</b>					
ほぼ毎日	33	45.5	45.5	3.0	6.1
週2～3日	273	56.4	40.7	1.8	1.1
週1日程度	281	64.4	32.7	0.7	2.1

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

## ②福祉協会（自治会・町会）等の地域の団体への関わり

- 福祉協会（自治会・町会）等の地域の団体への関わりへの影響では、「減少した」が72.5%と7割以上を占め、「変わらない」が25.3%となっています。
- ①の隣近所の住民とのコミュニケーションへの影響と比べて、地域の団体への関わりへの影響が大きくなっています。
- 年代別にみると、概ね、年代が低くなるほど「減少した」の割合が多くなる傾向がみられます。
- 活動年数別にみると、12年以上では「変わらない」の割合が3割程度と多くなっています。
- 地区別にみると、小田地区で「変わらない」がやや多くなっています。
- 活動頻度別にみると、概ね、活動頻度が多いほど「変わらない」の割合が多くなる傾向がみられます。



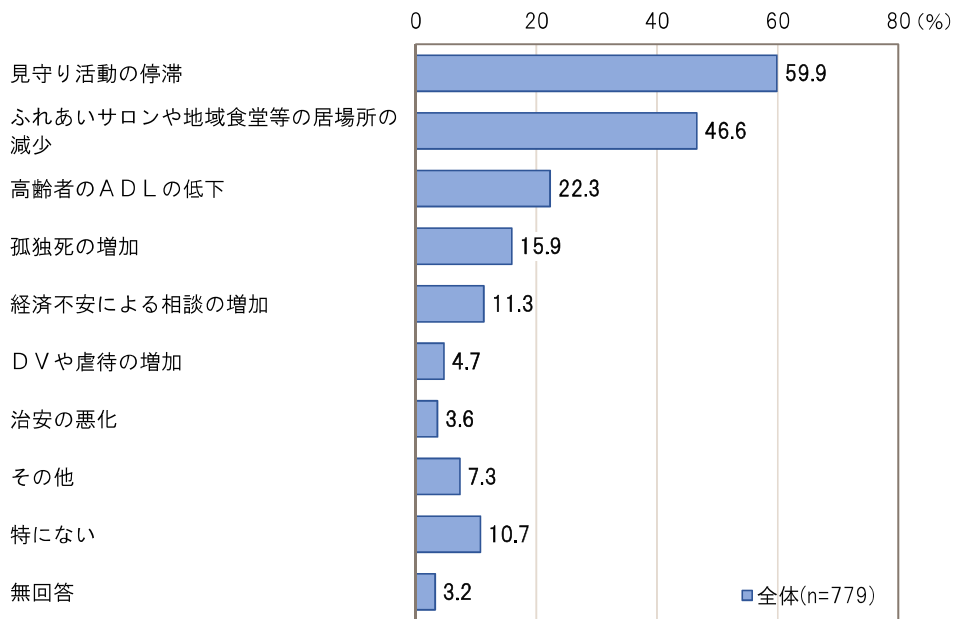
	回答者数 (人)	減少した	変わらない	増加した	無回答
(%)					
<b>年代別</b>					
30～50歳代	133	79.7	18.8	0.8	0.8
60歳代	320	74.7	22.8	1.3	1.3
70歳以上	324	67.3	30.6	1.5	0.6
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>					
3年未満	169	73.4	23.1	1.8	1.8
3年以上6年未満	185	70.3	27.0	2.2	0.5
6年以上9年未満	122	76.2	23.0	0.8	-
9年以上12年未満	127	77.2	20.5	0.8	1.6
12年以上15年未満	67	67.2	32.8	0.0	-
15年以上	100	69.0	29.0	1.0	1.0
<b>地区別</b>					
中央地区	120	70.0	27.5	1.7	0.8
小田地区	145	70.3	29.0	0.7	-
大庄地区	115	78.3	19.1	0.9	1.7
立花地区	157	75.8	22.9	1.3	-
武庫地区	112	70.5	26.8	0.9	1.8
園田地区	125	70.4	25.6	2.4	1.6
<b>活動頻度別</b>					
ほぼ毎日	33	54.5	42.4	0.0	3.0
週2～3日	273	72.2	25.6	1.8	0.4
週1日程度	281	76.2	21.4	1.4	1.1

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

## (2) 新型コロナウイルス感染症の影響により懸念される課題

- 新型コロナウイルス感染症の影響により懸念される課題では、「見守り活動の停滞」が59.9%と約6割を占めて最も多く、次いで「ふれあいサロンや地域食堂等の居場所の減少」(46.6%)、「高齢者のADLの低下」(22.3%)、「孤独死の増加」(15.9%)の順となっています。
- 地区別にみると、小田地区では「孤独死の増加」、大庄地区・武庫地区では「ふれあいサロンや地域食堂等の居場所の減少」がその他の地区に比べてやや多くなっています。
- 活動頻度別にみると、頻度が多いほど、「ふれあいサロンや地域食堂等の居場所の減少」が多くなる傾向がみられます。



	回答者数 (人)	見守り活動の停滞	ふれあいサロンや地域食堂等の居場所の減少	高齢者のADLの低下	孤独死の増加	経済不安による相談の増加	DVや虐待の増加	治安の悪化	その他	特にない
(%)										
<b>地区別</b>										
中央地区	120	45.0	40.8	16.7	7.5	13.3	4.2	3.3	6.7	15.8
小田地区	145	59.3	49.0	27.6	20.0	9.7	3.4	2.8	9.7	6.2
大庄地区	115	61.7	60.0	20.0	13.9	13.9	7.0	4.3	4.3	9.6
立花地区	157	60.5	39.5	21.7	17.8	14.0	5.7	6.4	5.7	12.1
武庫地区	112	68.8	55.4	26.8	17.9	6.3	3.6	1.8	7.1	8.9
園田地区	125	66.4	38.4	21.6	16.8	8.8	4.8	2.4	10.4	10.4
<b>活動頻度別</b>										
ほぼ毎日	33	45.5	66.7	24.2	12.1	21.2	6.1	3.0	12.1	0.0
週2～3日	273	63.7	50.5	24.9	13.2	10.3	5.5	4.4	7.0	9.2
週1日程度	281	60.9	45.9	23.8	18.5	10.7	4.6	3.2	6.4	11.0

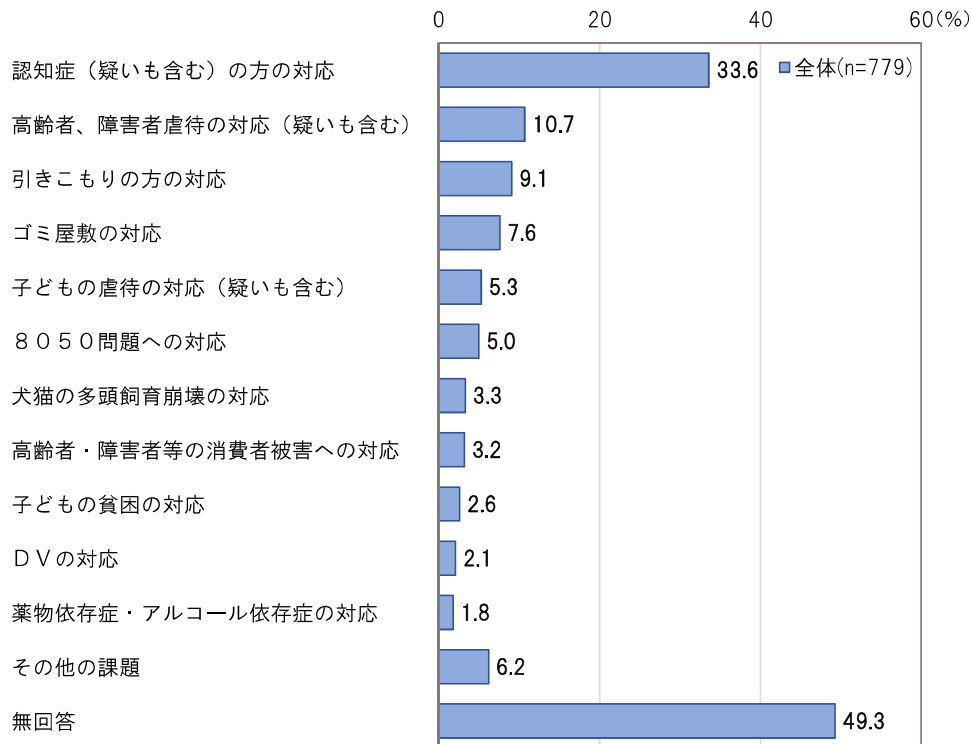
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

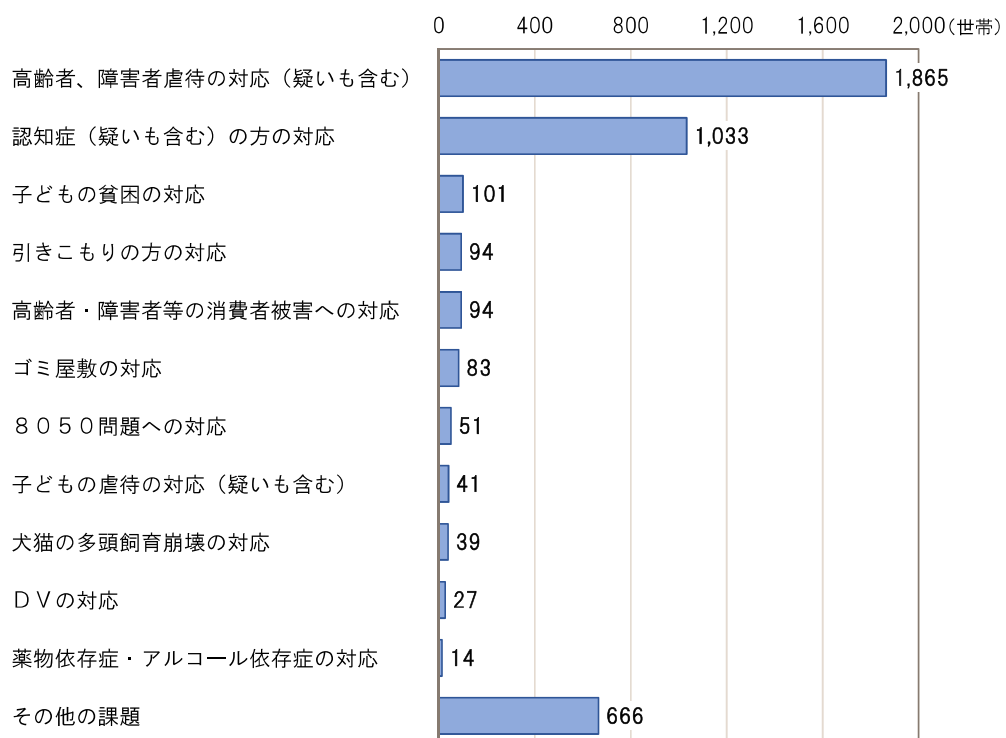
### 3. 担当区域の状況について

#### (1) 担当区域で対応している要援護者の状況

- 担当区域で対応している要援護者の状況では、「認知症（疑いも含む）の方の対応」が33.6%と3割以上を占めて最も多く、次いで「高齢者、障害者虐待の対応（疑いも含む）」（10.7%）、「引きこもりの方の対応」（9.1%）の順となっています。



- 対応世帯数でみると、「高齢者、障害者虐待の対応（疑いも含む）」が1,865世帯と最も多く、次いで「認知症（疑いも含む）の方の対応」が1,033世帯となっており、高齢者や障害者虐待（疑いも含む）を対応している人の平均対応世帯数は20世帯以上となっています。



- 年代別にみると、年代が上がるにつれて「8050 問題への対応」や「犬猫の多頭飼育崩壊の対応」、  
「高齢者・障害者等の消費者被害への対応」が増える傾向がみられます。
- 活動年数別にみると、活動年数が短いほど、すべての項目での割合が低くなる傾向がみられます。

(%)

	回答者数 (人)	認知症(疑いも含む)の方の対応	高齢者、障害者虐待の対応(疑いも含む)	引きこもりの方の対応	ゴミ屋敷の対応	子どもの虐待の対応(疑いも含む)	8050問題への対応	犬猫の多頭飼育崩壊の対応
<b>年代別</b>								
30～50歳代	133	20.3	3.0	9.0	4.5	8.3	1.5	0.8
60歳代	320	35.0	13.1	6.9	9.1	6.9	4.7	3.1
70歳以上	324	38.0	11.4	11.1	7.4	2.5	6.8	4.6
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>								
3年未満	169	23.7	8.9	3.6	3.6	1.8	0.6	0.6
3年以上6年未満	185	36.2	8.6	9.2	9.2	6.5	9.2	2.2
6年以上9年未満	122	32.0	14.8	8.2	4.1	4.9	4.1	7.4
9年以上12年未満	127	40.2	7.9	10.2	5.5	5.5	7.1	4.7
12年以上15年未満	67	32.8	17.9	10.4	10.4	11.9	3.0	6.0
15年以上	100	42.0	12.0	17.0	16.0	5.0	5.0	2.0

(つづき)	回答者数 (人)	高齢者・障害者等の消費者被害への対応	子どもの貧困の対応	DVの対応	薬物依存症・アルコール依存症の対応	その他の課題	無回答
<b>年代別</b>							
30～50歳代	133	1.5	3.8	1.5	-	6.0	61.7
60歳代	320	3.1	2.5	2.2	2.5	4.7	49.4
70歳以上	324	4.0	2.2	2.2	1.9	7.4	44.4
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>							
3年未満	169	1.8	2.4	0.6	0.6	7.7	64.5
3年以上6年未満	185	2.7	2.7	2.7	1.1	5.4	44.9
6年以上9年未満	122	3.3	2.5	2.5	3.3	6.6	50.0
9年以上12年未満	127	3.9	0.8	0.8	1.6	3.9	46.5
12年以上15年未満	67	4.5	4.5	6.0	3.0	10.4	43.3
15年以上	100	4.0	4.0	2.0	2.0	4.0	40.0

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- 地区別にみると、園田地区では「高齢者、障害者虐待の対応（疑いも含む）」、小田地区、大庄地区、園田地区では「引きこもりの方の対応」、小田地区では「ゴミ屋敷の対応」が、それぞれその他の地区に比べてやや多くなっています。
- 活動頻度別にみると、頻度が高いほど、すべての項目での割合が高くなる傾向がみられます。

(%)

	回答者数（人）	認知症（疑いも含む）の対応	高齢者、障害者虐待の対応（疑いも含む）	引きこもりの方の対応	ゴミ屋敷の対応	子どもの虐待の対応（疑いも含む）	8050問題への対応	犬猫の多頭飼育崩壊の対応
<b>地区別</b>								
中央地区	120	26.7	11.7	8.3	5.0	5.0	5.0	1.7
小田地区	145	39.3	12.4	11.0	11.0	3.4	9.0	4.1
大庄地区	115	39.1	9.6	11.3	9.6	4.3	4.3	6.1
立花地区	157	38.2	8.3	6.4	5.7	7.0	3.8	3.2
武庫地区	112	25.0	7.1	5.4	8.0	6.3	2.7	2.7
園田地区	125	32.0	15.2	12.0	6.4	5.6	4.8	2.4
<b>活動頻度別</b>								
ほぼ毎日	33	54.5	18.2	15.2	15.2	15.2	12.1	12.1
週2～3日	273	39.2	14.7	11.7	9.9	6.2	9.5	4.4
週1日程度	281	32.0	7.5	6.0	6.8	4.6	1.4	2.1

(つづき)	回答者数（人）	高齢者・障害者等の消費者被害への対応	子どもの貧困の対応	DVの対応	薬物依存症・アルコール依存症の対応	その他の課題	無回答
<b>地区別</b>							
中央地区	120	1.7	3.3	0.8	0.8	2.5	57.5
小田地区	145	4.1	1.4	1.4	2.8	6.2	40.7
大庄地区	115	5.2	5.2	2.6	2.6	9.6	44.3
立花地区	157	5.1	2.5	2.5	2.5	5.7	44.6
武庫地区	112	0.9	1.8	-	-	9.8	60.7
園田地区	125	0.8	1.6	4.8	1.6	4.0	51.2
<b>活動頻度別</b>							
ほぼ毎日	33	12.1	6.1	3.0	-	9.1	27.3
週2～3日	273	5.1	3.7	3.7	0.7	9.2	39.6
週1日程度	281	1.8	2.1	0.7	2.5	2.8	54.4

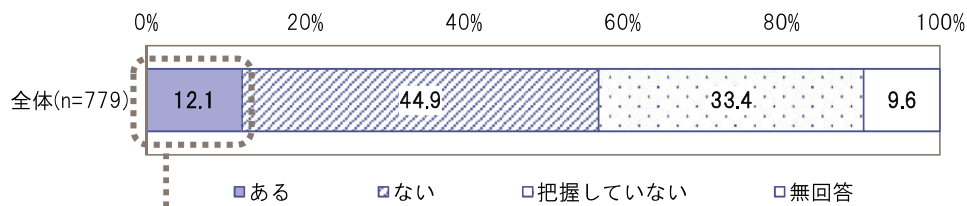
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。



## (2) 必要な支援を受けていない又は拒否している事例の有無

- ・必要な支援を受けていない又は拒否している事例では、「ない」が44.9%と4割以上を占めて多くなっており、「ある」は1割程度(12.1%)となっています。
- ・支援を受けていない又は拒否している人の理由としては、支援してくれる人がいる場合がある一方で、本人や家族が人を頼りたくないために拒否をしている場合や、支援を受けることに躊躇いを感じている、本人自身が困りごとを自覚できていないケースなどが見受けられます。
- ・地区別にみると、園田地区で「ある」が16.8%と最も多くなっています。
- ・活動頻度別にみると、活動頻度が少なくなるほど「把握していない」の割合が増える傾向がみられます。



### 支援を受けていない又は拒否している理由（主な意見を抜粋）

- ・ 親戚や近所の方など、支援してくれる人がいるから
- ・ 本人が支援を希望していない（他人に頼りたくない）
- ・ 家族が支援を希望していない（他人に頼りたくない）
- ・ 本人が困りごとを自覚できていない（認知症の疑いを否定 など）
- ・ 行政の支援を受けることに躊躇いがある（支援を受けることへの罪悪感）
- ・ プライバシーの保護（家を見られたくない、深入りされたくない）
- ・ 地域との関わりを持ちたくない
- ・ まだ自分たちで対応できると本人や家族に言われてしまうから

など

(%)

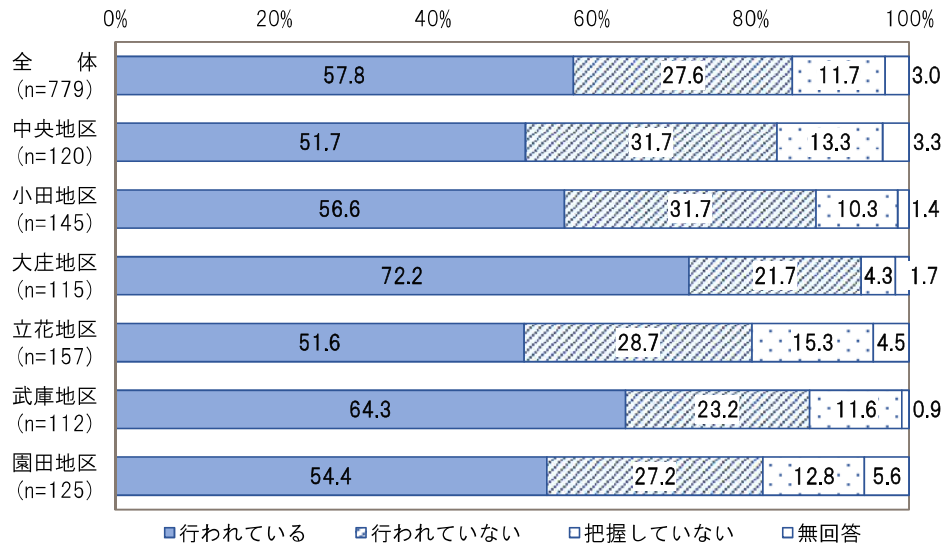
	回答者数 (人)	ある	ない	把握して いない	無回答
<b>地区別</b>					
中央地区	120	6.7	54.2	32.5	6.7
小田地区	145	12.4	52.4	26.9	8.3
大庄地区	115	12.2	50.4	29.6	7.8
立花地区	157	10.8	46.5	33.8	8.9
武庫地区	112	14.3	34.8	35.7	15.2
園田地区	125	16.8	30.4	42.4	10.4
<b>活動頻度別</b>					
ほぼ毎日	33	3.0	69.7	21.2	6.1
週2～3日	273	16.1	52.0	22.7	9.2
週1日程度	281	7.1	43.4	39.5	10.0

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

### (3) 担当区域が属する福祉協会での地域福祉活動の実施状況

- 福祉協会での地域福祉活動の実施状況では、「行われている」が57.8%と6割近くを占めて多くになっており、「行われていない」は3割未満（27.6%）となっています。
- 地区別にみると、「行われている」地区は、大庄地区で72.2%と7割以上を占めて最も多く、次いで武庫地区（64.3%）となっています。
- 活動頻度別にみると、「行われている」は、ほぼ毎日活動している人で約7割と最も多くなっています。また、活動頻度が少なくなるほど「把握していない」の割合が増える傾向がみられます。



(%)

	回答者数 (人)	行われている	行われていない	把握していない	無回答
<b>活動頻度別</b>					
ほぼ毎日	33	69.7	21.2	6.1	3.0
週2～3日	273	64.1	27.5	6.6	1.8
週1日程度	281	55.5	29.2	12.5	2.8

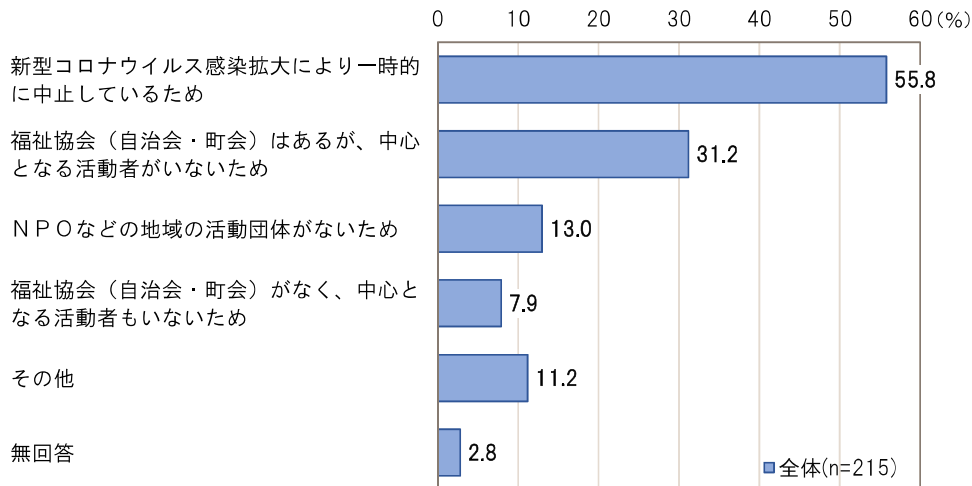
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

#### (4) 地域福祉活動が行われていない理由

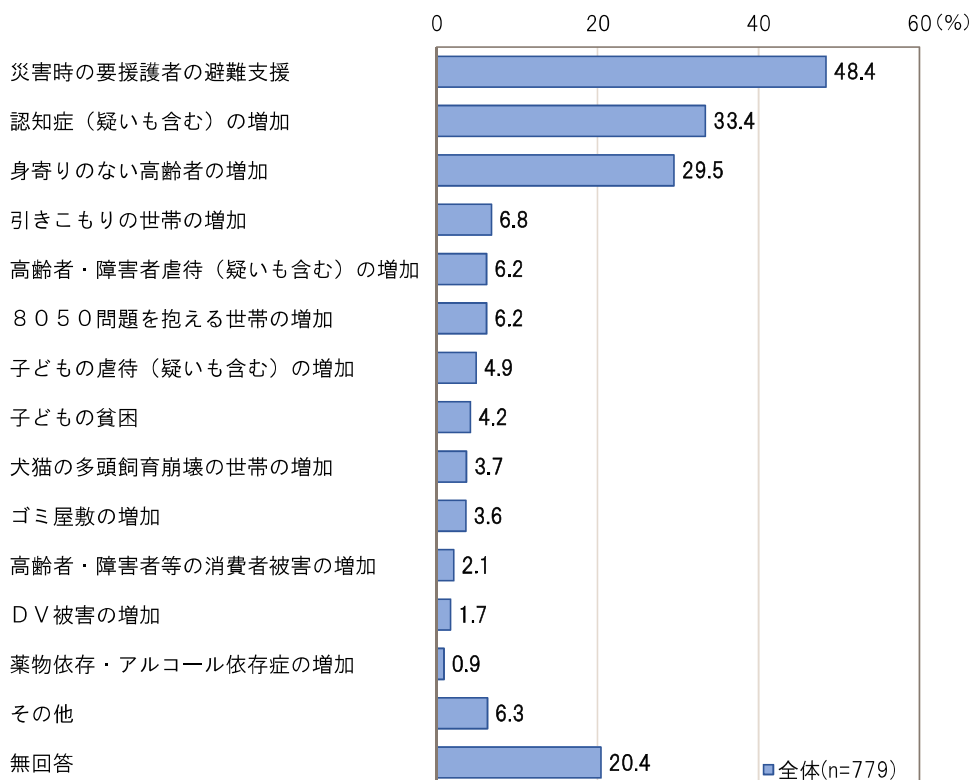
※ (3) で「行われていない」と回答した人のみ

- ・福祉協会での地域福祉活動が行われていない理由では、「新型コロナウイルス感染拡大により一時的に中止しているため」が55.8%と最も多く、半数以上を占めています。
- ・次いで、「福祉協会（自治会・町会）はあるが、中心となる活動者がいないため」（31.2%）、「NPOなどの地域の活動団体がいないため」（13.0%）の順となっています。



#### (5) 担当区域の生活・福祉課題

- ・担当区域の生活・福祉課題では、「災害時の要援護者の避難支援」が48.4%と半数近くを占めて多く、次いで「認知症（疑いも含む）の増加」（33.4%）、「身寄りのない高齢者の増加」（29.5%）の順となっています。



- ・年代別にみると、概ね年代が高くなるほど、各項目の割合が増える傾向がみられます。
- ・活動年数別にみると、概ね活動年数が長くなるほど、各項目の割合が増える傾向がみられます。

(%)

	回答者数 (人)	災害時の要 援護者の 避難支援	認知症 (疑いも含む) の増加	身寄りのない 高齢者の 増加	引きこもりの 世帯の 増加	高齢者・障害者 虐待 (疑いも含む) の増加	8050問題を 抱える 世帯の増加	子どもの虐待 (疑いも 含む)の増加	子どもの貧困
<b>年代別</b>									
30～50歳代	133	31.6	27.8	20.3	3.8	2.3	6.0	9.0	9.0
60歳代	320	51.3	32.5	30.6	6.9	9.4	6.3	7.5	5.0
70歳以上	324	52.2	36.4	31.8	7.7	4.6	6.2	0.6	1.2
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>									
3年未満	169	39.1	24.9	27.2	4.7	6.5	5.3	3.0	3.6
3年以上 6年未満	185	50.8	38.4	34.6	8.1	4.3	5.9	4.9	3.8
6年以上 9年未満	122	49.2	32.0	17.2	7.4	8.2	7.4	1.6	2.5
9年以上 12年未満	127	48.8	36.2	35.4	6.3	5.5	7.1	3.9	1.6
12年以上 15年未満	67	52.2	34.3	26.9	6.0	10.4	6.0	14.9	14.9
15年以上	100	56.0	35.0	35.0	9.0	4.0	6.0	7.0	5.0

(つづき)	回答者数 (人)	犬猫の多頭飼育 崩壊の増加	ゴミ屋敷の 増加	高齢者・障害者 等の消費者被害 の増加	DV被害の 増加	薬物依存・アル コール依存症の 増加	その他	無回答
<b>年代別</b>								
30～50歳代	133	2.3	3.8	0.8	1.5	-	5.3	36.1
60歳代	320	4.1	3.8	2.8	1.6	0.9	5.6	15.9
70歳以上	324	4.0	3.4	1.9	1.9	1.2	7.4	18.5
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>								
3年未満	169	2.4	3.0	2.4	-	0.6	8.9	29.0
3年以上 6年未満	185	2.7	3.2	1.6	0.5	1.1	3.2	18.4
6年以上 9年未満	122	4.9	1.6	2.5	1.6	1.6	5.7	24.6
9年以上 12年未満	127	3.1	5.5	1.6	2.4	0.8	7.1	17.3
12年以上 15年未満	67	9.0	7.5	-	7.5	-	6.0	10.4
15年以上	100	3.0	3.0	4.0	2.0	1.0	7.0	15.0

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- 地区別にみると、大庄地区では「災害時の要援護者の避難支援」、小田地区では「身寄りのない高齢者の増加」が、それぞれその他の地区に比べて多くなっています。
- 活動頻度別にみると、概ね活動頻度が増えるほど、各項目の割合が増える傾向がみられます。

(%)

	回答者数 (人)	災害時の要援護者の 避難支援	認知症(疑いも含む) の増加	身寄りのない高齢者 の増加	引きこもりの世帯の 増加	高齢者・障害者虐待 (疑いも含む)の増加	8050問題を抱え る世帯の増加	子どもの虐待(疑いも 含む)の増加	子どもの貧困
<b>地区別</b>									
中央地区	120	47.5	25.8	27.5	2.5	5.8	2.5	4.2	4.2
小田地区	145	44.8	39.3	38.6	8.3	6.9	7.6	2.8	1.4
大庄地区	115	56.5	33.9	25.2	7.0	2.6	7.0	5.2	4.3
立花地区	157	45.2	35.7	21.7	7.6	5.7	7.0	8.9	6.4
武庫地区	112	49.1	29.5	29.5	8.9	9.8	6.3	4.5	8.0
園田地区	125	50.4	34.4	34.4	6.4	5.6	6.4	3.2	1.6
<b>活動頻度別</b>									
ほぼ毎日	33	48.5	39.4	36.4	6.1	3.0	18.2	15.2	15.2
週2～3日	273	53.5	37.7	35.9	6.2	5.9	7.3	5.5	4.0
週1日程度	281	47.3	35.2	24.2	7.8	8.2	6.8	5.3	3.9

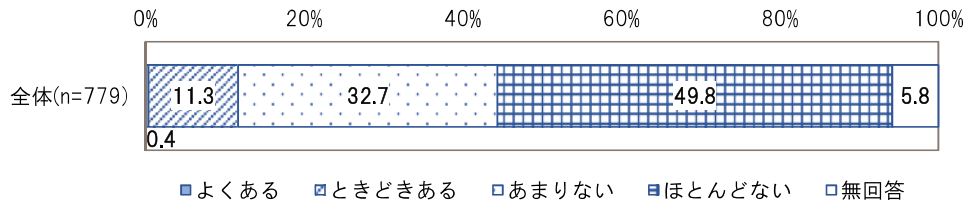
(つづき)	回答者数 (人)	犬猫の多頭飼育崩壊 の世帯の増加	ゴミ屋敷の増加	高齢者・障害者等の消 費者被害の増加	DV被害の増加	薬物依存・アルコール 依存症の増加	その他	無回答
<b>地区別</b>								
中央地区	120	1.7	4.2	1.7	-	0.8	3.3	25.8
小田地区	145	3.4	5.5	2.1	2.1	0.7	10.3	16.6
大庄地区	115	6.1	2.6	1.7	2.6	0.9	8.7	16.5
立花地区	157	7.0	4.5	3.2	0.6	0.6	3.2	19.1
武庫地区	112	3.6	3.6	3.6	2.7	0.9	4.5	25.0
園田地区	125	-	0.8	-	2.4	1.6	8.0	19.2
<b>活動頻度別</b>								
ほぼ毎日	33	15.2	6.1	-	3.0	-	6.1	21.2
週2～3日	273	4.0	3.3	3.3	2.2	0.7	7.0	12.5
週1日程度	281	3.2	4.3	1.4	1.1	1.1	5.3	20.6

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

**(6) 複数の課題が重なった支援困難な事例の有無**

- 複数の課題が重なった支援困難な事例では、「ほとんどない」が49.8%と約半数を占めて最も多く、次いで「あまりない」(32.7%)となっており、『ない』が8割以上を占めています。
- 「よくある」(0.4%)と「ときどきある」(11.3%)を合わせると、『ある』は1割程度となっています。
- 地区別にみると、『ある』は小田地区でやや多くなっています。
- 活動頻度別にみると、概ね、活動頻度が多いほど『ある』の割合が多くなる傾向がみられます。



(%)						
	回答者数 (人)	よくある	ときどきある	あまりない	ほとんどない	無回答
<b>地区別</b>						
中央地区	120	-	9.2	30.0	<b>55.8</b>	5.0
小田地区	145	1.4	13.1	31.7	<b>48.3</b>	5.5
大庄地区	115	-	11.3	38.3	<b>47.0</b>	3.5
立花地区	157	0.6	11.5	35.7	<b>47.8</b>	4.5
武庫地区	112	-	10.7	22.3	<b>55.4</b>	11.6
園田地区	125	-	12.0	36.0	<b>46.4</b>	5.6
<b>活動頻度別</b>						
ほぼ毎日	33	3.0	15.2	39.4	<b>42.4</b>	-
週2～3日	273	0.7	13.6	<b>41.0</b>	<b>41.0</b>	3.7
週1日程度	281	-	9.3	29.9	<b>55.5</b>	5.3

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

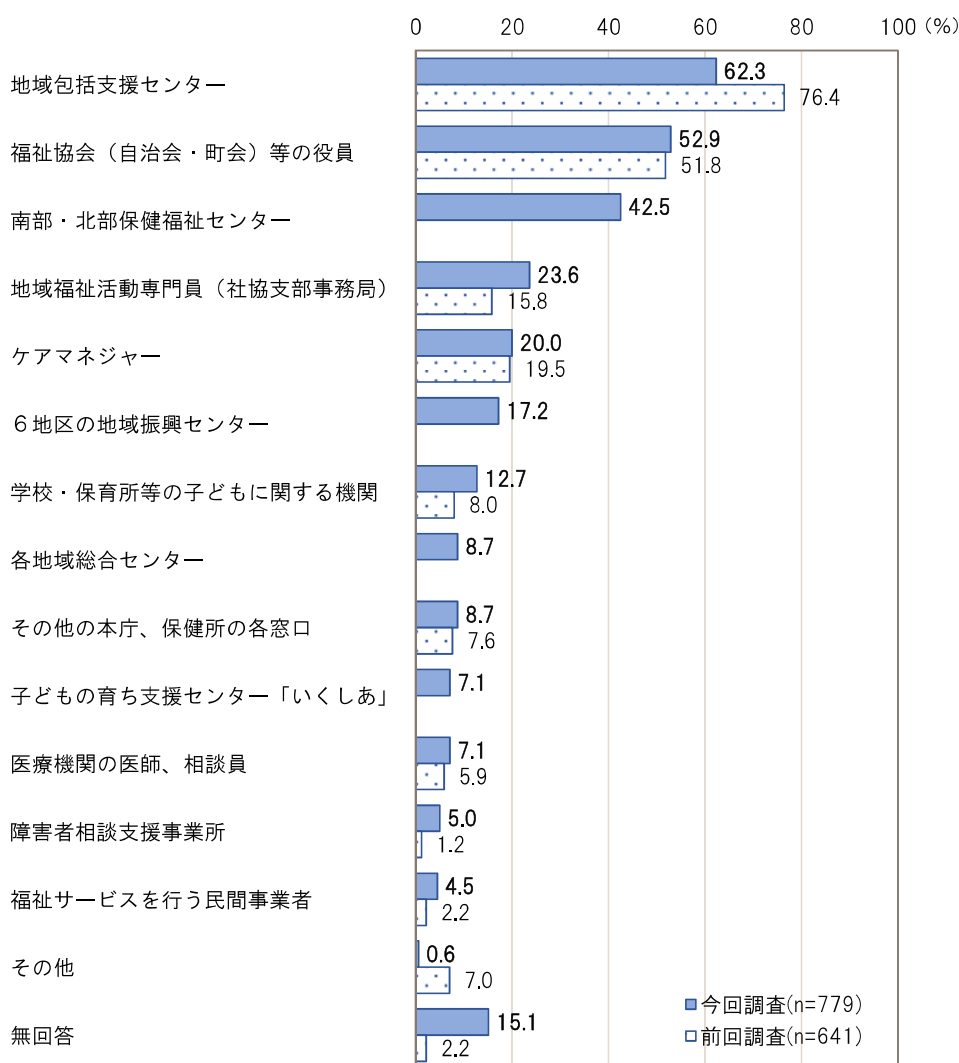
※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

## 4. 関係団体との連携について

### (1) 関係団体との連携

#### ① 普段の活動の中で相談したり協力を求めるところ

- 普段の活動の中で相談したり協力を求めるところでは、「地域包括支援センター」が62.3%と6割以上を占めて最も多く、次いで「福祉協会（自治会・町会）等の役員」（52.9%）、「南部・北部保健福祉センター」（42.5%）、「地域福祉活動専門員（社協支部事務局）」（23.6%）の順となっています。
- 前回調査と比較すると、「地域包括支援センター」で10ポイント以上減少しているものの、その他の機関では概ね増加しています。



- ・年代別にみると、60歳代で最も多くの機関との連携が進んでいることがわかります。
- ・活動年数別にみると、活動年数が短いほど連携が少ない傾向がみられ、特に3年未満では「地域福祉活動専門員（社協支部事務局）」や「ケアマネジャー」との連携が少なくなっています。

(%)

	回答者数（人）	地域包括支援センター	福祉協会（自治会・町会）等の役員	南部・北部保健福祉センター	地域福祉活動専門員（社協支部事務局）	ケアマネジャー	6地区の地域振興センター	学校・保育所等の子どもに関する機関	各地域総合センター
<b>年代別</b>									
30～50歳代	133	48.1	48.1	45.9	19.5	14.3	15.0	21.1	5.3
60歳代	320	65.9	59.1	47.8	24.7	22.2	18.8	12.5	10.6
70歳以上	324	64.5	48.5	35.8	23.8	20.4	16.4	9.3	8.3
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>									
3年未満	169	43.8	52.1	41.4	13.6	9.5	14.2	14.8	7.7
3年以上 6年未満	185	60.0	62.7	47.6	27.0	23.8	17.3	8.1	8.1
6年以上 9年未満	122	71.3	45.9	36.1	23.0	18.0	16.4	11.5	9.0
9年以上 12年未満	127	71.7	54.3	37.0	22.0	20.5	15.7	12.6	9.4
12年以上 15年未満	67	61.2	47.8	50.7	28.4	23.9	20.9	22.4	6.0
15年以上	100	74.0	47.0	46.0	32.0	29.0	21.0	13.0	12.0

(つづき)	回答者数（人）	その他の本庁、保健所の各窓口	子どもの育ち支援センター「いくしあ」	医療機関の医師、相談員	障害者相談支援事業所	福祉サービスを行う民間事業者（NPO法人も含む）	その他	無回答
<b>年代別</b>								
30～50歳代	133	9.8	10.5	6.8	4.5	6.0	-	19.5
60歳代	320	9.1	8.8	5.9	5.6	4.7	1.6	8.4
70歳以上	324	7.7	4.0	8.0	4.6	3.7	-	20.1
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>								
3年未満	169	5.3	5.9	4.1	4.1	5.3	0.6	21.9
3年以上 6年未満	185	9.2	5.4	9.7	8.1	5.4	0.5	11.9
6年以上 9年未満	122	9.0	3.3	9.0	3.3	4.9	1.6	13.9
9年以上 12年未満	127	7.9	8.7	7.1	4.7	0.8	-	14.2
12年以上 15年未満	67	10.4	19.4	4.5	3.0	6.0	-	11.9
15年以上	100	12.0	6.0	6.0	4.0	5.0	1.0	14.0

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。



- ・地区別にみると、大庄地区では「福祉協会（自治会・町会）等の役員」が最も多くなっています。
- ・活動頻度別にみると、活動頻度が多いほど連携が多い傾向がみられ、特に「地域福祉活動専門員（社協支部事務局）」や「ケアマネジャー」ではその傾向が顕著となっています。

(%)

	回答者数（人）	地域包括支援センター	福祉協会（自治会・町会）等の役員	南部・北部保健福祉センター	地域福祉活動専門員（社協支部事務局）	ケアマネジャー	6地区の地域振興センター	学校・保育所等の子どもに関する機関	各地域総合センター
<b>地区別</b>									
中央地区	120	55.0	52.5	50.0	18.3	17.5	7.5	11.7	4.2
小田地区	145	70.3	55.2	49.0	22.8	22.8	16.6	10.3	7.6
大庄地区	115	62.6	65.2	47.0	27.8	20.9	19.1	17.4	13.9
立花地区	157	59.2	49.7	38.9	25.5	22.9	17.2	14.0	11.5
武庫地区	112	66.1	43.8	24.1	27.7	18.8	25.9	9.8	12.5
園田地区	125	61.6	52.8	45.6	20.0	16.8	18.4	13.6	3.2
<b>活動頻度別</b>									
ほぼ毎日	33	57.6	48.5	45.5	39.4	33.3	24.2	21.2	6.1
週2～3日	273	69.2	61.5	48.7	31.9	21.2	21.2	15.0	9.2
週1日程度	281	61.6	51.6	40.9	15.3	19.2	16.7	11.7	9.3
その他	170	55.9	45.3	34.7	21.8	18.2	11.8	10.6	8.8

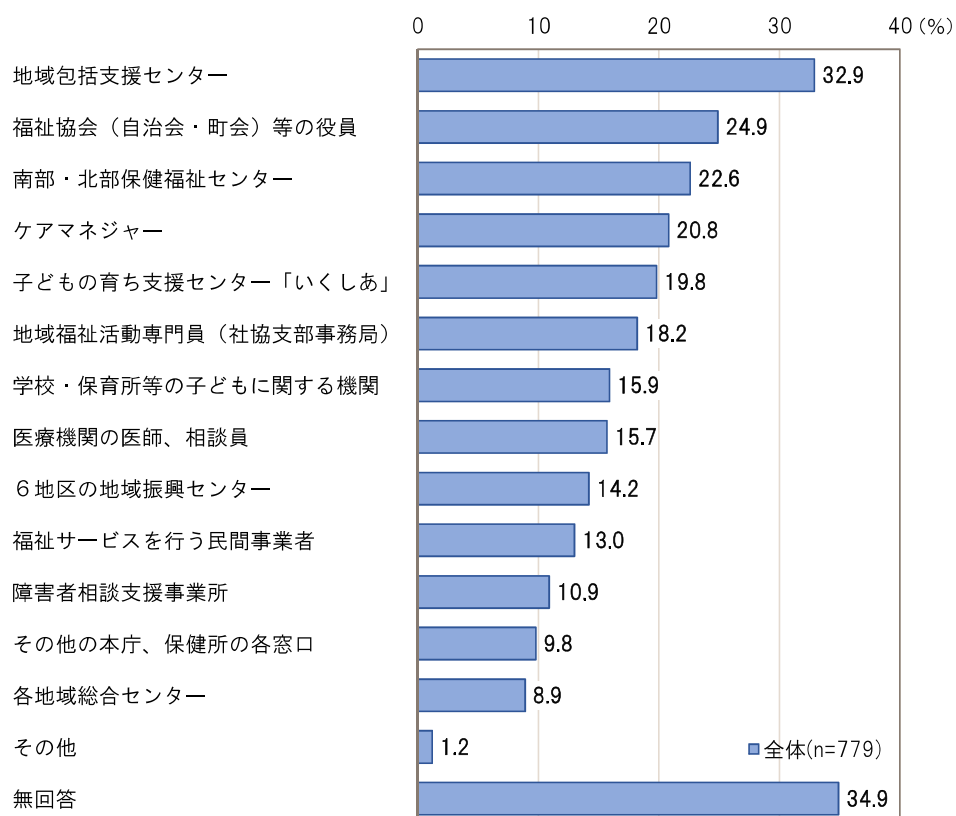
(つづき)	回答者数（人）	その他の本庁、保健所の各窓口	子どもの育ち支援センター「いくしあ」	医療機関の医師、相談員	障害者相談支援事業所	福祉サービスを行う民間事業者（NPO法人も含む）	その他	無回答
<b>地区別</b>								
中央地区	120	6.7	6.7	10.0	4.2	4.2	-	15.0
小田地区	145	12.4	6.9	6.9	9.0	6.2	0.7	11.0
大庄地区	115	9.6	8.7	8.7	4.3	4.3	0.9	12.2
立花地区	157	8.3	6.4	4.5	3.8	1.3	0.6	18.5
武庫地区	112	6.3	5.4	5.4	3.6	5.4	1.8	17.0
園田地区	125	8.0	8.8	7.2	4.8	6.4	0.0	14.4
<b>活動頻度別</b>								
ほぼ毎日	33	6.1	12.1	6.1	6.1	3.0	-	18.2
週2～3日	273	11.0	5.5	9.2	4.0	4.8	0.4	10.6
週1日程度	281	8.9	7.8	6.4	5.7	5.3	0.4	14.6
その他	170	5.3	7.6	4.7	5.3	3.5	1.8	19.4

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

## ②これからの活動の中で新たに相談や連携が必要と考えているところ

- これからの活動の中で新たに相談や連携が必要と考えているところでは、「地域包括支援センター」が32.9%と3割以上を占めて最も多く、次いで「福祉協会(自治会・町会)等の役員」(24.9%)、「南部・北部保健福祉センター」(22.6%)、「ケアマネジャー」(20.8%)の順となっています。
- ①の普段の活動の中で相談したり協力を求めるところと比較すると、「子どもの育ち支援センター「いくしあ」や「学校・保育所等の子どもに関する機関」などの、子どもに関する機関との連携がこれから必要と考えている人が多くなっています。



- ・年代別にみると、30～50 歳代では「子どもの育ち支援センター「いくしあ」」が最も多くなっています。
- ・活動年数別にみると、15 年以上の人で「南部・北部保健福祉センター」や「ケアマネジャー」、「医療機関の医師、相談員」、「障害者相談支援事業所」などが、その他と比べてやや多くなっています。

(%)

	回答者数 (人)	地域包括支援センター	福祉協会(自治会・町会)等の役員	南部・北部保健福祉センター	ケアマネジャー	子どもの育ち支援センター「いくしあ」	地域福祉活動専門員(社協支部事務局)	学校・保育所等の子どもに関する機関	医療機関の医師、相談員
<b>年代別</b>									
30～50歳代	133	23.3	21.1	19.5	18.0	<b>26.3</b>	17.3	21.8	15.0
60歳代	320	<b>36.9</b>	27.8	24.7	24.7	23.8	21.3	16.3	15.6
70歳以上	324	<b>32.4</b>	23.1	21.6	17.9	12.7	15.1	12.7	15.4
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>									
3年未満	169	<b>34.3</b>	29.6	21.9	22.5	20.1	16.6	14.8	11.2
3年以上 6年未満	185	<b>34.6</b>	26.5	23.2	21.1	20.0	20.5	16.8	17.8
6年以上 9年未満	122	<b>30.3</b>	19.7	21.3	16.4	14.8	16.4	13.9	12.3
9年以上 12年未満	127	<b>29.1</b>	18.9	20.5	20.5	15.7	17.3	14.2	12.6
12年以上 15年未満	67	<b>35.8</b>	25.4	22.4	13.4	22.4	16.4	14.9	17.9
15年以上	100	<b>33.0</b>	26.0	27.0	27.0	25.0	19.0	19.0	23.0

(つづき)	回答者数 (人)	6地区の地域振興センター	福祉サービスを行う民間事業者(NPO法人も含む)	障害者相談支援事業所	その他の本庁、保健所の各窓口	各地域総合センター	その他	無回答
<b>年代別</b>								
30～50歳代	133	14.3	16.5	15.0	13.5	12.0	2.3	41.4
60歳代	320	15.3	13.1	12.2	10.0	9.7	1.6	26.9
70歳以上	324	12.7	11.1	7.4	7.7	6.5	0.3	40.4
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>								
3年未満	169	16.0	10.1	10.1	5.3	8.9	-	34.3
3年以上 6年未満	185	14.6	14.6	14.1	13.0	12.4	2.2	34.6
6年以上 9年未満	122	13.9	13.9	11.5	9.8	6.6	2.5	34.4
9年以上 12年未満	127	10.2	13.4	6.3	7.1	7.1	1.6	43.3
12年以上 15年未満	67	14.9	13.4	4.5	13.4	9.0	-	34.3
15年以上	100	15.0	11.0	15.0	11.0	7.0	-	28.0

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

- 地区別にみると、大庄地区では「ケアマネジャー」、立花地区・園田地区では「子どもの育ち支援センター「いくしあ」」が、その他の地区に比べてやや多くなっています。
- 活動頻度別にみると、週2～3日程度の活動をしている人で最も色々な機関との連携を望む人が多くなっています。

(%)

	回答者数 (人)	地域包括支援センター	福祉協会 (自治会・町会) 等の役員	南部・北部保健福祉センター	ケアマネジャー	子どもの育ち支援センター 「いくしあ」	地域福祉活動専門員 (社協支部事務局)	学校・保育所等の子どもに 関する機関	医療機関の医師、相談員
<b>地区別</b>									
中央地区	120	37.5	21.7	26.7	24.2	13.3	15.8	14.2	12.5
小田地区	145	27.6	24.8	24.1	20.7	13.1	17.9	17.2	15.2
大庄地区	115	33.9	26.1	21.7	25.2	18.3	19.1	18.3	17.4
立花地区	157	31.2	28.0	23.6	20.4	28.0	21.0	19.7	21.0
武庫地区	112	32.1	17.9	18.8	13.4	17.0	17.9	7.1	8.9
園田地区	125	36.0	29.6	20.0	20.0	26.4	16.8	16.0	16.8
<b>活動頻度別</b>									
ほぼ毎日	33	24.2	24.2	18.2	15.2	12.1	12.1	15.2	18.2
週2～3日	273	36.3	29.3	28.6	27.5	23.8	23.8	16.5	20.5
週1日程度	281	28.1	21.0	18.9	18.9	16.0	15.3	14.6	13.9
その他	170	38.2	25.9	21.2	14.7	21.8	15.9	18.2	11.2

(つづき)	回答者数 (人)	6地区の地域振興センター	福祉サービスを行う民間 事業者(NPO法人も含む)	障害者相談支援事業所	その他の本庁、保健所の 各窓口	各地域総合センター	その他	無回答
<b>地区別</b>								
中央地区	120	11.7	11.7	10.8	9.2	10.0	-	32.5
小田地区	145	10.3	13.1	11.0	8.3	7.6	1.4	37.9
大庄地区	115	13.9	11.3	9.6	7.8	9.6	0.9	33.0
立花地区	157	17.8	15.3	10.8	15.3	7.0	1.3	31.2
武庫地区	112	13.4	9.8	9.8	8.9	7.1	2.7	42.9
園田地区	125	17.6	15.2	12.8	7.2	12.0	0.8	32.8
<b>活動頻度別</b>								
ほぼ毎日	33	12.1	6.1	3.0	6.1	3.0	-	45.5
週2～3日	273	20.1	15.4	14.3	12.1	11.0	1.8	27.1
週1日程度	281	10.3	12.8	8.5	7.5	6.4	0.7	37.7
その他	170	11.2	11.2	11.2	11.2	10.6	1.2	37.6

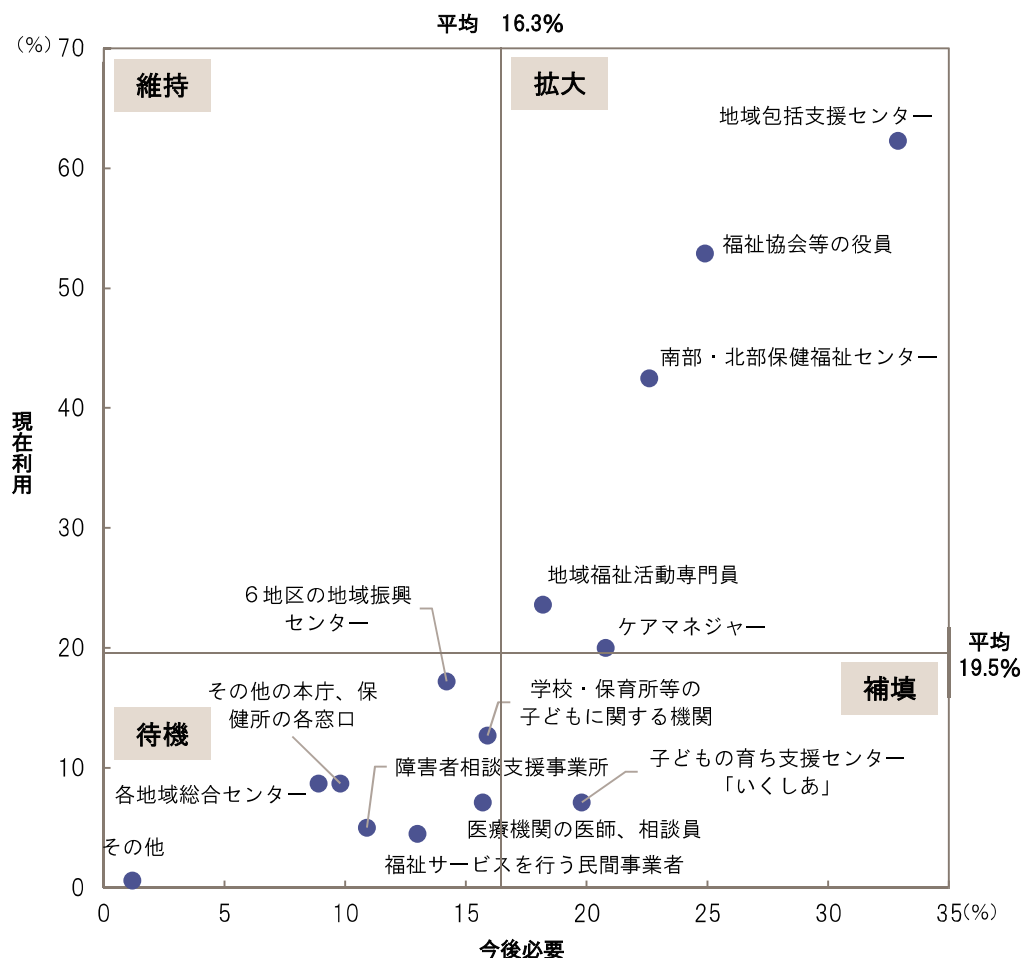
※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

### ③現在の相談・協力先と今後必要となる相談・連携先の4象限分析

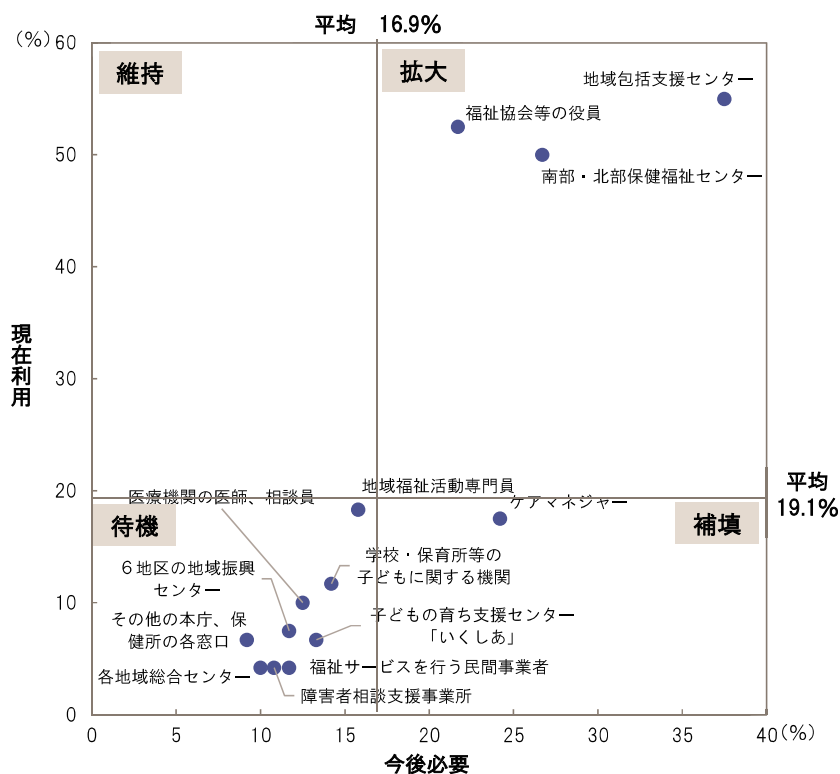
#### 《市全体》

- 現在の利用度も今後の利用度も高い『拡大』領域には、「地域包括支援センター」、「福祉協会等の役員」、「南部・北部保健福祉センター」、「地域福祉活動専門員」、「ケアマネジャー」がみられます。
- 現在の利用度は低いが今後の利用度が高い『補填』領域には、「子どもの育ち支援センター「いくしあ」」がみられます。



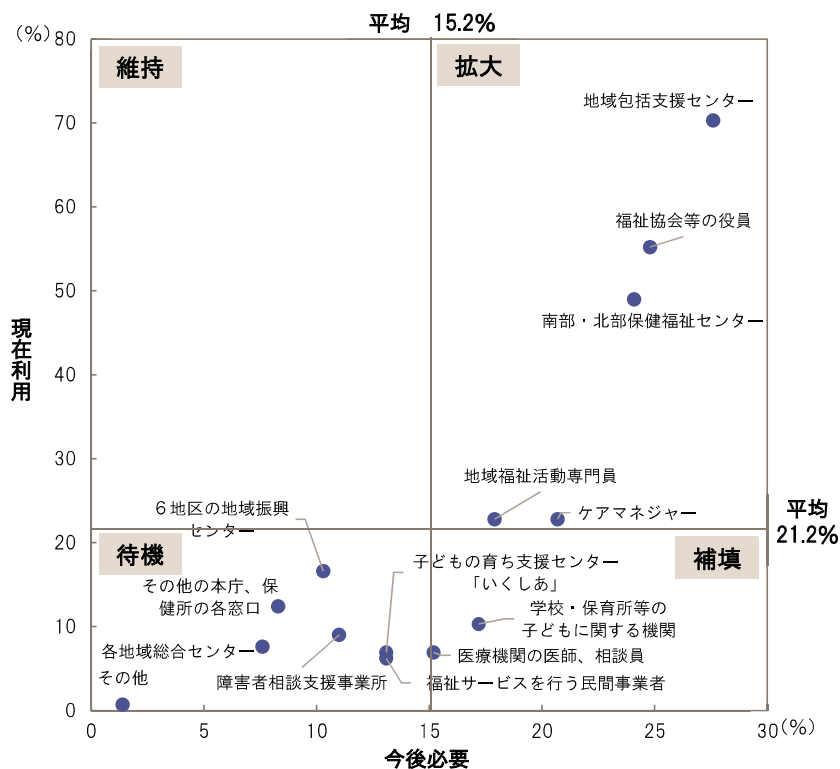
### 《中央地区》

- 中央地区では、『拡大』領域には、「地域包括支援センター」、「福祉協会等の役員」、「南部・北部保健福祉センター」、『補填』領域には「ケアマネジャー」がみられます。



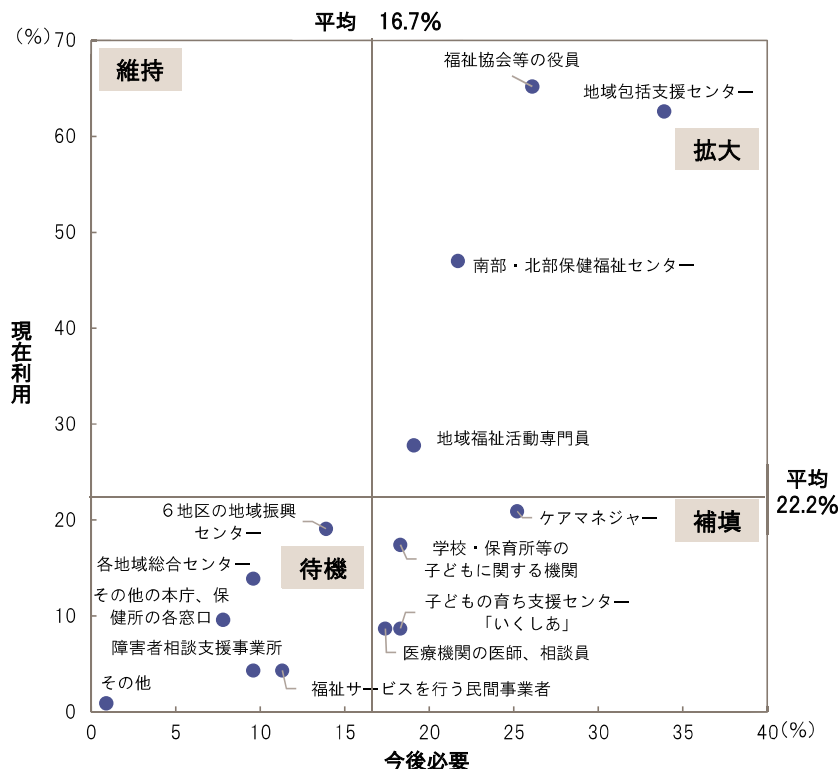
### 《小田地区》

- 小田地区では、『拡大』領域には、「地域包括支援センター」、「福祉協会等の役員」、「南部・北部保健福祉センター」、「地域福祉活動専門員」、「ケアマネジャー」、『補填』領域には「学校・保育所等の子どもに関する機関」、「医療機関の医師、相談員」がみられます。



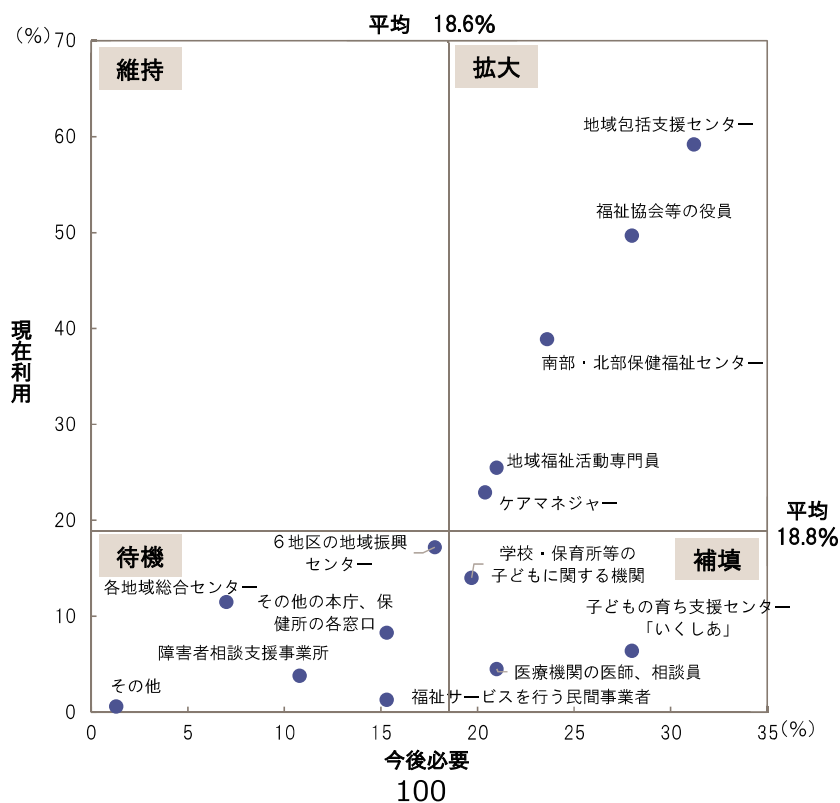
## 《大庄地区》

- 大庄地区では、『拡大』領域には、「福祉協会等の役員」、「地域包括支援センター」、「南部・北部保健福祉センター」、「地域福祉活動専門員」、『補填』領域には「ケアマネジャー」、「子どもの育ち支援センター「いくしあ」、「医療機関の医師、相談員」、「学校・保育所等の子どもに関する機関」がみられます。



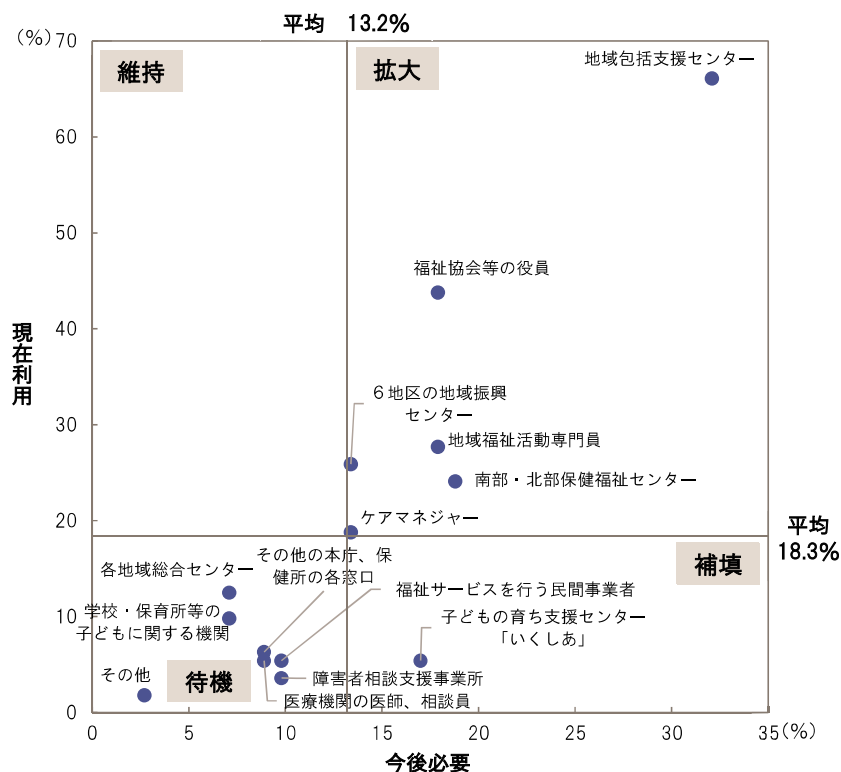
## 《立花地区》

- 立花地区では、『拡大』領域には、「地域包括支援センター」、「福祉協会等の役員」、「南部・北部保健福祉センター」、「地域福祉活動専門員」、「ケアマネジャー」、『補填』領域には「子どもの育ち支援センター「いくしあ」、「医療機関の医師、相談員」、「学校・保育所等の子どもに関する機関」がみられます。



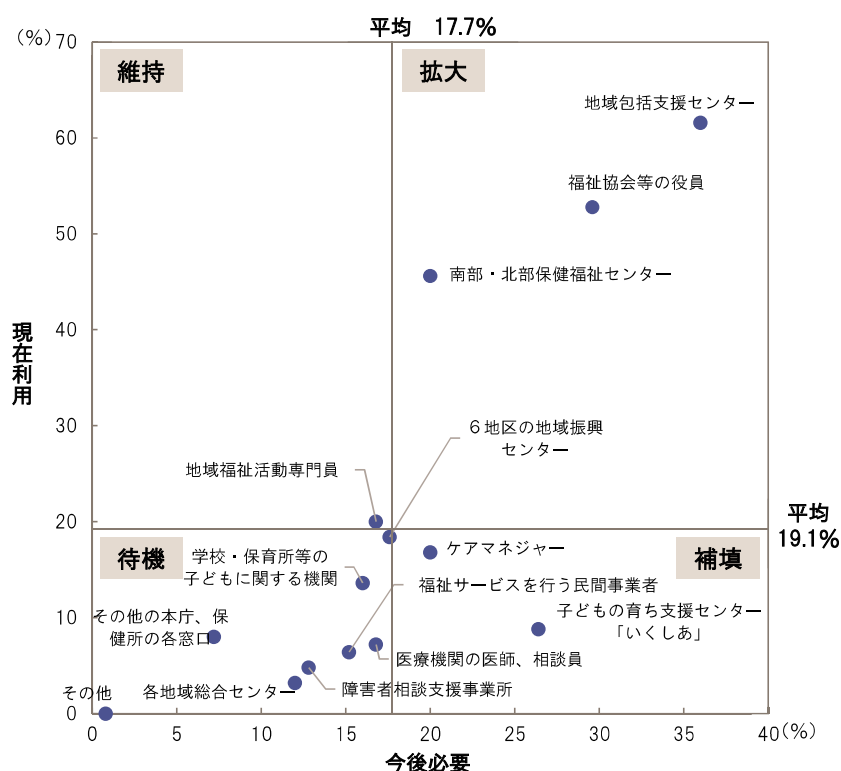
## 《武庫地区》

- 武庫地区では、『拡大』領域には、「地域包括支援センター」、「福祉協会等の役員」、「地域福祉活動専門員」、「南部・北部保健福祉センター」、「6地区の地域振興センター」、『補填』領域には「子どもの育ち支援センター「いくしあ」」がみられます。



## 《園田地区》

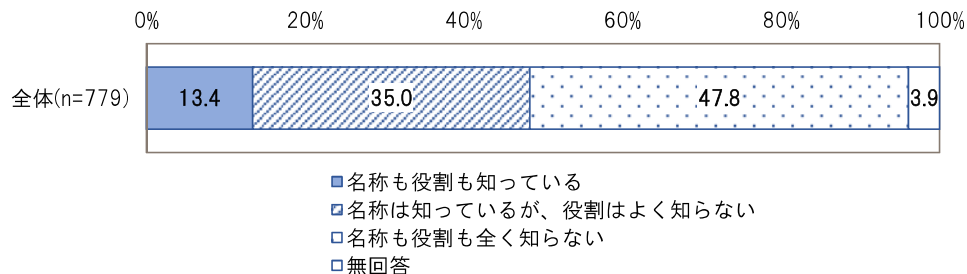
- 園田地区では、『拡大』領域には、「地域包括支援センター」、「福祉協会等の役員」、「南部・北部保健福祉センター」、『補填』領域には「ケアマネジャー」、「子どもの育ち支援センター「いくしあ」」がみられます。





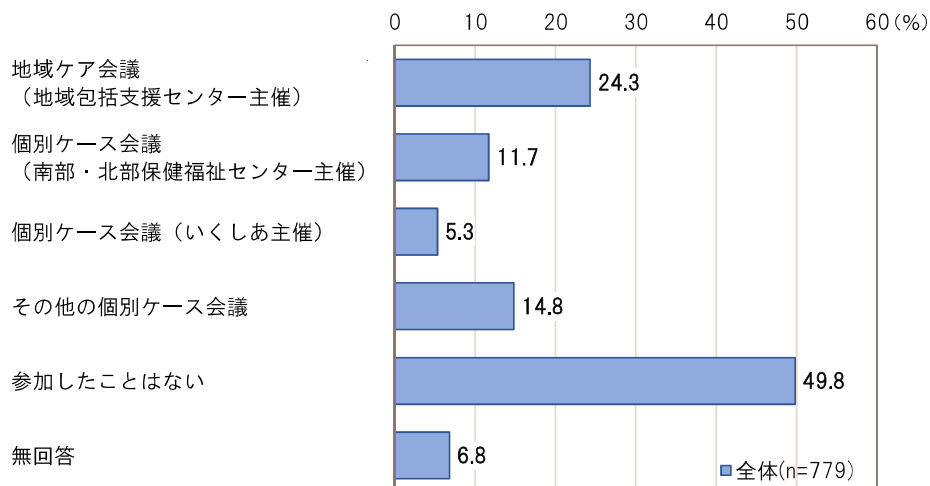
## (2) ささえあい地域活動センター「むすぶ」の認知度

- ・ ささえあい地域活動センター「むすぶ」については、「名称も役割も全く知らない」が47.8%と半数近くを占めて最も多く、次いで「名称は知っているが、役割はよく知らない」が35.0%となっており、「名称も役割も知っている」人は1割程度（13.4%）となっています。



## (3) 個別課題を支援するための関係機関が開催する会議への参加状況

- ・ 個別課題を支援するための関係機関が開催する会議への参加状況では、「参加したことはない」が49.8%と約半数を占めて最も多く、参加したことがある人は半数未満となっています。
- ・ 参加している人では、「地域ケア会議（地域包括支援センター主催）」が24.3%と2割以上を占めて多く、次いで「個別ケース会議（南部・北部保健福祉センター主催）」（11.7%）の順となっています。



- 年代別にみると、若い人ほど「参加したことはない」の割合が多くなる傾向がみられます。
- 活動年数別にみると、3年以上で「地域ケア会議（地域包括支援センター主催）」や「個別ケース会議（南部・北部保健福祉センター主催）」への参加が増加しています。
- 地区別にみると、武庫地区では「地域ケア会議（地域包括支援センター主催）」が約3割を占めて多くなっています。
- 活動頻度別にみると、ほぼ毎日活動している人で「個別ケース会議（いくしあ主催）」への参加が1割以上を占めて、その他に比べてやや多くなっています。

(%)

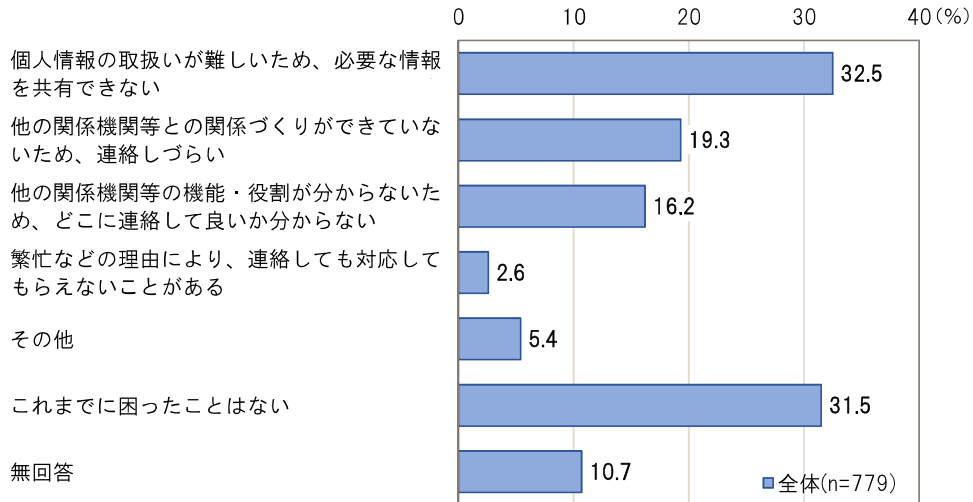
	回答者数 (人)	地域ケア会議 (地域包括支援センター主催)	個別ケース会議 (南部・北部保健福祉センター主催)	個別ケース会議 (いくしあ主催)	その他の個別ケース会議	参加したことはない	無回答
<b>年代別</b>							
30～50歳代	133	12.8	12.0	5.3	13.5	60.2	3.0
60歳代	320	23.8	10.6	5.0	17.5	48.1	6.3
70歳以上	324	29.3	12.7	5.2	12.3	47.5	9.0
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>							
3年未満	169	10.1	8.3	1.8	19.5	60.4	3.6
3年以上 6年未満	185	27.6	16.2	5.4	15.7	43.2	5.9
6年以上 9年未満	122	25.4	15.6	3.3	13.1	47.5	12.3
9年以上 12年未満	127	29.9	11.0	8.7	15.0	48.8	3.9
12年以上 15年未満	67	22.4	9.0	10.4	7.5	49.3	9.0
15年以上	100	31.0	6.0	5.0	13.0	50.0	10.0
<b>地区別</b>							
中央地区	120	17.5	10.8	5.8	10.8	55.8	9.2
小田地区	145	27.6	13.1	7.6	17.2	42.1	8.3
大庄地区	115	24.3	12.2	5.2	19.1	48.7	7.0
立花地区	157	24.2	11.5	2.5	10.2	52.9	7.0
武庫地区	112	30.4	10.7	2.7	21.4	41.1	6.3
園田地区	125	21.6	12.0	7.2	11.2	58.4	2.4
<b>活動頻度別</b>							
ほぼ毎日	33	27.3	12.1	15.2	15.2	39.4	12.1
週2～3日	273	25.3	11.0	7.3	15.8	49.8	5.5
週1日程度	281	23.5	12.5	3.6	13.5	50.9	7.1

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

#### (4) 地域住民や他機関と相談、協働する際に困ること

- 地域住民や他機関と相談、協働する際に困ることでは、「個人情報の取扱いが難しいため、必要な情報を共有できない」が32.5%と3割以上を占めて最も多く、次いで「他の関係機関等との関係づくりができていないため、連絡しづらい」(19.3%)、「他の関係機関等の機能・役割が分からないため、どこに連絡して良いか分からない」(16.2%)の順となっています。
- また、「これまでに困ったことはない」が31.5%と3割以上を占めています。



- 年代別にみると、年代が下がるほど「他の関係機関等の機能・役割が分からないため、どこに連絡して良いか分からない」の割合が増加する傾向がみられます。
- 活動年数別にみると、概ね、活動年数が短いほど、「他の関係機関等との関係づくりができていないため、連絡しづらい」の割合が増加する傾向がみられます。
- 地区別にみると、大庄地区で「個人情報の取扱いが難しいため、必要な情報を共有できない」が、その他の地区に比べてやや多くなっています。
- 活動頻度別にみると、概ね活動頻度が少ないほど、「他の関係機関等の機能・役割が分からないため、どこに連絡して良いか分からない」の割合が増加する傾向がみられます。

(%)

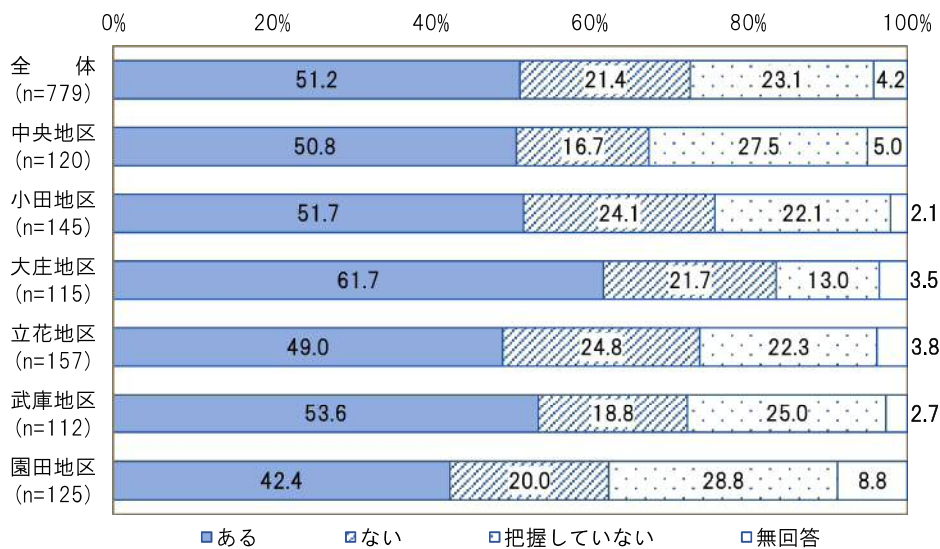
	回答者数(人)	個人情報の取扱いが難しいため、必要な情報を共有できない	他の関係機関等との関係づくりができていないため、連絡しづらい	他の関係機関等の機能・役割が分からないため、どこに連絡して良いか分からない	他の関係機関等の機能・役割が分からないため、どこに連絡して良いか分からない	繁忙などの理由により、連絡しても対応してもらえないことがある	その他	これまでに困ったことはない	無回答
<b>年代別</b>									
30～50歳代	133	33.1	18.8	19.5	2.3	6.0	31.6	12.8	
60歳代	320	31.9	23.1	16.3	2.2	5.0	33.8	5.9	
70歳以上	324	33.0	15.7	14.8	2.8	5.2	29.0	14.5	
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>									
3年未満	169	21.9	22.5	23.1	1.8	9.5	32.0	11.2	
3年以上 6年未満	185	35.7	23.2	15.1	2.2	4.9	27.6	10.3	
6年以上 9年未満	122	33.6	22.1	16.4	1.6	2.5	34.4	7.4	
9年以上 12年未満	127	29.1	17.3	17.3	3.9	3.9	33.9	11.8	
12年以上 15年未満	67	49.3	13.4	9.0	4.5	3.0	25.4	11.9	
15年以上	100	36.0	10.0	11.0	3.0	5.0	34.0	12.0	
<b>地区別</b>									
中央地区	120	30.8	25.8	13.3	0.8	5.0	35.0	10.0	
小田地区	145	32.4	17.2	19.3	4.8	7.6	29.0	10.3	
大庄地区	115	41.7	20.0	17.4	0.9	7.8	24.3	7.8	
立花地区	157	26.1	18.5	18.5	3.2	1.9	31.2	15.9	
武庫地区	112	28.6	15.2	12.5	2.7	5.4	37.5	8.0	
園田地区	125	36.8	20.0	15.2	2.4	4.8	32.0	10.4	
<b>活動頻度別</b>									
ほぼ毎日	33	33.3	12.1	6.1	3.0	6.1	36.4	18.2	
週2～3日	273	39.9	19.8	12.8	2.2	5.9	30.0	8.1	
週1日程度	281	29.5	18.9	17.1	2.1	4.3	33.5	10.0	

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

### (5) 担当区域における関係機関や関係者が集まり定期的に話し合う場

- ・担当区域における関係機関や関係者が集まり定期的に話し合う場については、「ある」が51.2%と半数以上を占めており、「ない」は21.4%となっています。
- ・地区別にみると、「ある」地区は、大庄地区で61.7%と6割以上を占めて最も多く、次いで武庫地区(53.6%)となっています。
- ・年代別にみると、30～60歳代では「把握していない」がやや多くなっています。
- ・活動年数別にみると、3年未満では「把握していない」が3割を超えており、その他に比べて多くなっています。
- ・活動頻度別にみると、頻度が少ないほど「把握していない」が多くなる傾向がみられます。



(%)

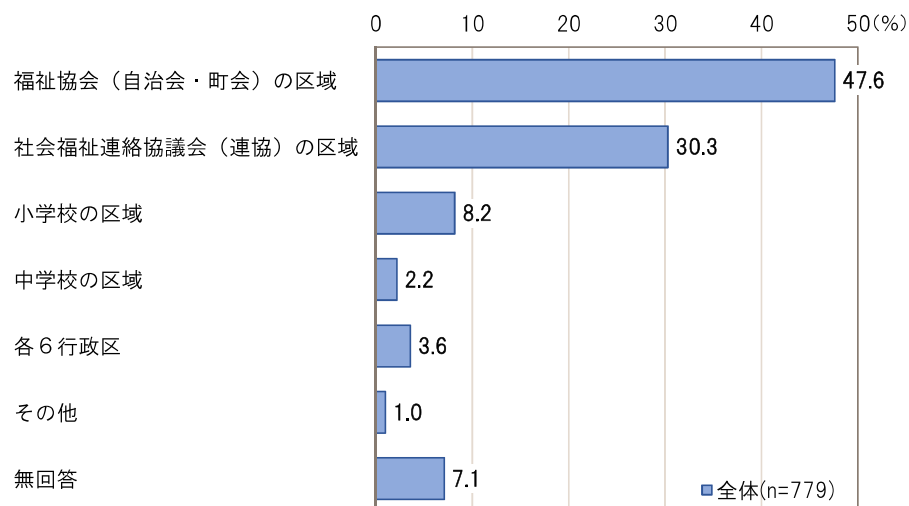
	(人) 回答者数	ある	ない	把握して いない	無回答
<b>年代別</b>					
30～50歳代	133	56.4	18.0	21.8	3.8
60歳代	320	49.7	19.4	26.6	4.4
70歳以上	324	50.6	24.7	20.4	4.3
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>					
3年未満	169	50.3	13.6	32.0	4.1
3年以上6年未満	185	53.0	20.5	24.3	2.2
6年以上9年未満	122	48.4	23.8	18.9	9.0
9年以上12年未満	127	55.1	23.6	15.0	6.3
12年以上15年未満	67	52.2	25.4	20.9	1.5
15年以上	100	44.0	30.0	24.0	2.0
<b>活動頻度別</b>					
ほぼ毎日	33	60.6	30.3	6.1	3.0
週2～3日	273	52.0	23.8	22.0	2.2
週1日程度	281	49.5	19.9	25.6	5.0

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

### (6) 生活・福祉課題について話し合う場があればよいと思う範囲

- 生活・福祉課題について話し合う場があればよいと思う範囲では、「福祉協会（自治会・町会）の区域」が 47.6%と半数近くを占めて最も多く、次いで「社会福祉連絡協議会（連協）の区域」（30.3%）、「小学校の区域」（8.2%）の順となっています。



- 年代別にみると、年齢が上がるにつれて「福祉協会（自治会・町会）の区域」や「社会福祉連絡協議会（連協）の区域」が多くなる傾向がみられます。
- 活動年数別にみると、3年未満では「中学校の区域」がやや多くなっています。
- 地区別にみると、武庫地区では「社会福祉連絡協議会（連協）の区域」が最も多く、その他の地区では「福祉協会（自治会・町会）の区域」が最も多くなっています。
- 活動頻度別にみると、頻度が少ないほど「小学校の区域」が多くなる傾向がみられます。

(%)

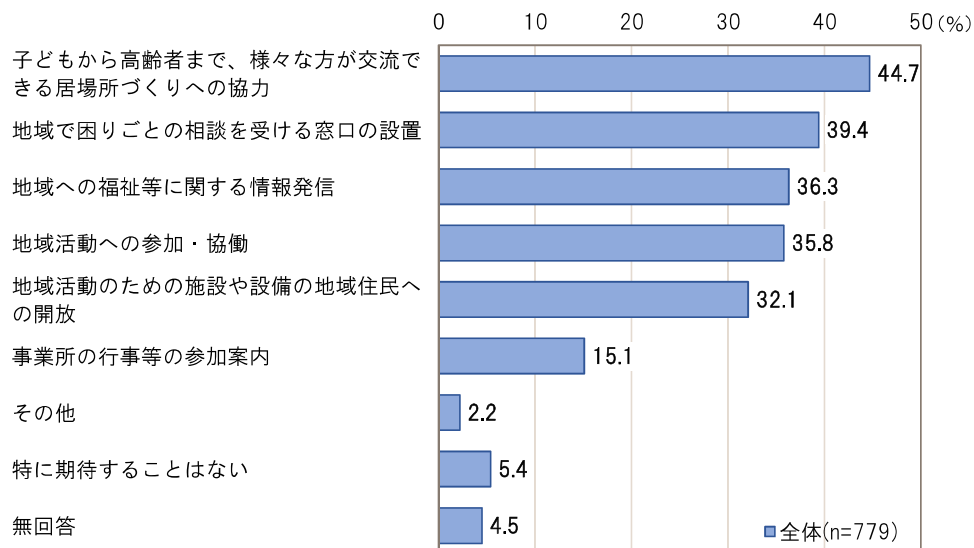
	回答者数 (人)	福祉協会 (自治会・町会) の区域	社会福祉連絡協議会 (連協)の区域	小学校の区域	中学校の区域	各6行政区	その他	無回答
<b>年代別</b>								
30～50歳代	133	42.1	23.3	9.8	3.8	8.3	1.5	11.3
60歳代	320	46.9	30.3	7.8	3.4	4.4	0.6	6.6
70歳以上	324	50.9	32.7	8.0	0.3	0.9	1.2	5.9
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>								
3年未満	169	49.7	22.5	8.9	4.1	4.7	1.8	8.3
3年以上 6年未満	185	52.4	30.8	5.4	2.2	4.9	1.6	2.7
6年以上 9年未満	122	49.2	22.1	10.7	1.6	2.5	1.6	12.3
9年以上 12年未満	127	42.5	39.4	7.1	1.6	0.8	-	8.7
12年以上 15年未満	67	41.8	32.8	11.9	1.5	6.0	-	6.0
15年以上	100	42.0	39.0	9.0	1.0	3.0	-	6.0
<b>地区別</b>								
中央地区	120	56.7	28.3	5.8	0.8	4.2	-	4.2
小田地区	145	55.9	27.6	6.2	1.4	2.1	0.7	6.2
大庄地区	115	47.8	28.7	7.0	2.6	6.1	0.9	7.0
立花地区	157	49.0	31.2	8.3	1.3	3.8	0.6	5.7
武庫地区	112	34.8	40.2	5.4	3.6	4.5	1.8	9.8
園田地区	125	40.8	26.4	16.8	4.0	1.6	2.4	8.0
<b>活動頻度別</b>								
ほぼ毎日	33	51.5	30.3	6.1	-	6.1	3.0	3.0
週2～3日	273	47.3	33.0	8.8	2.2	3.3	0.4	5.1
週1日程度	281	48.0	30.2	8.9	1.8	3.9	1.1	6.0

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

## (7) 地域の福祉事業者に期待すること

- ・地域の福祉事業者に期待することでは、「子どもから高齢者まで、様々な方が交流できる居場所づくりへの協力」が44.7%と4割以上を占めて最も多く、次いで「地域で困りごとの相談を受ける窓口の設置」(39.4%)、「地域への福祉等に関する情報発信」(36.3%)、「地域活動への参加・協働」(35.8%)、「地域活動のための施設や設備の地域住民への開放」(32.1%)の順となっています。





- 年代別にみると、年齢が上がるにつれて「子どもから高齢者まで、様々な方が交流できる居場所づくりへの協力」や「地域活動への参加・協働」が多くなる傾向がみられます。
- 活動年数別にみると、3年未満では「地域で困りごとの相談を受ける窓口の設置」が最も多くなっています。また、概ね活動年数が長くなるほど「地域活動のための施設や設備の地域住民への開放」が多くなる傾向がみられます。
- 地区別にみると、小田地区では「地域で困りごとの相談を受ける窓口の設置」が最も多く、その他の地区では「子どもから高齢者まで、様々な方が交流できる居場所づくりへの協力」が最も多くなっています。
- 活動頻度別みると、大きな差はみられません。

(%)

	回答者数 (人)	子どもから高齢者まで、 様々な方が交流できる居 場所づくりへの協力	子どもから高齢者まで、 様々な方が交流できる居 場所づくりへの協力	地域で困りごとの相談を 受ける窓口の設置	地域への福祉等に関する 情報発信	地域活動への参加・協働	地域活動のための施設や 設備の地域住民への開放	事業所の行事等の参加案 内	その他	特に期待することはない	無回答
<b>年代別</b>											
30～50歳代	133	42.1	41.4	33.8	31.6	24.8	14.3	3.8	8.3	4.5	
60歳代	320	43.1	41.3	42.5	35.6	36.3	17.5	2.8	4.7	2.8	
70歳以上	324	46.9	36.4	30.9	37.7	30.6	13.0	0.9	4.9	6.2	
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>											
3年未満	169	41.4	42.0	40.2	33.1	29.6	14.8	4.7	3.6	6.5	
3年以上 6年未満	185	45.9	37.8	29.7	39.5	29.2	13.5	2.2	7.0	2.7	
6年以上 9年未満	122	43.4	28.7	35.2	36.1	29.5	17.2	0.8	8.2	4.9	
9年以上 12年未満	127	43.3	42.5	36.2	40.2	33.9	14.2	0.8	3.9	4.7	
12年以上 15年未満	67	43.3	38.8	46.3	37.3	34.3	16.4	1.5	-	3.0	
15年以上	100	52.0	46.0	37.0	28.0	41.0	14.0	1.0	6.0	5.0	
<b>地区別</b>											
中央地区	120	42.5	34.2	29.2	35.0	24.2	14.2	0.8	11.7	5.0	
小田地区	145	37.9	39.3	33.1	37.2	26.9	11.0	1.4	5.5	2.8	
大庄地区	115	50.4	40.0	35.7	33.0	41.7	15.7	5.2	5.2	2.6	
立花地区	157	46.5	42.7	39.5	38.2	32.5	15.9	0.6	1.9	5.1	
武庫地区	112	47.3	38.4	39.3	33.9	35.7	19.6	5.4	3.6	5.4	
園田地区	125	44.8	40.8	41.6	36.0	33.6	16.0	0.8	4.8	6.4	
<b>活動頻度別</b>											
ほぼ毎日	33	45.5	36.4	27.3	36.4	33.3	15.2	3.0	6.1	9.1	
週2～3日	273	44.7	41.4	42.9	39.6	32.2	14.7	2.2	5.5	3.7	
週1日程度	281	44.1	36.7	34.2	37.7	32.4	17.1	1.4	6.4	3.6	

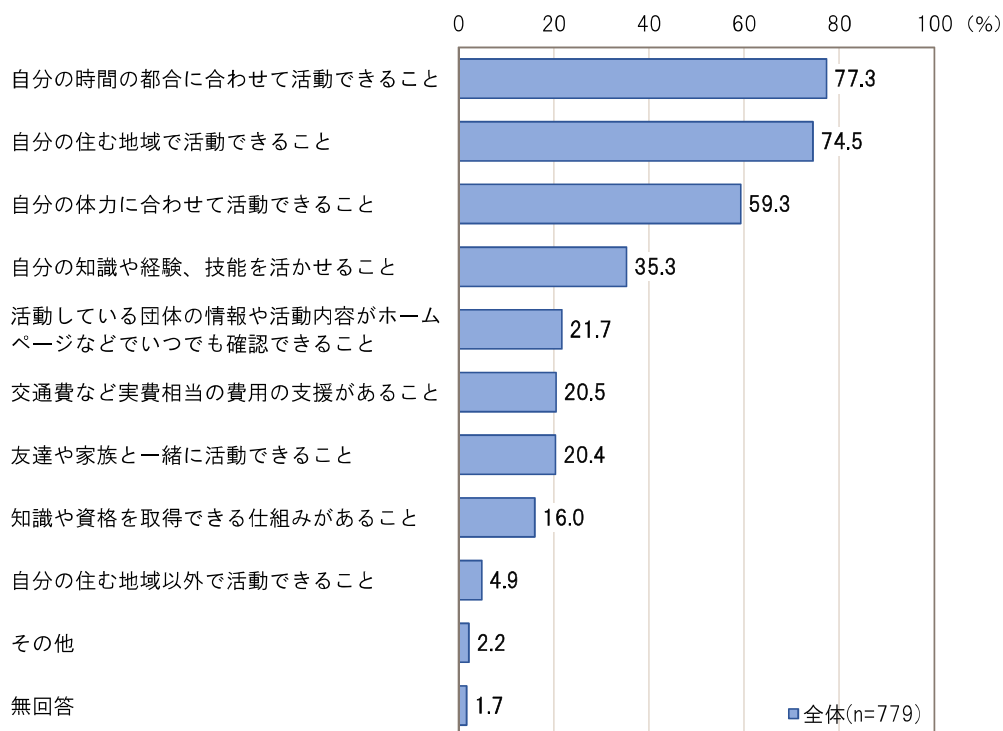
※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

## 5. 地域のボランティア活動を充実させるための方法について

### (1) ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動に必要な条件や仕組み

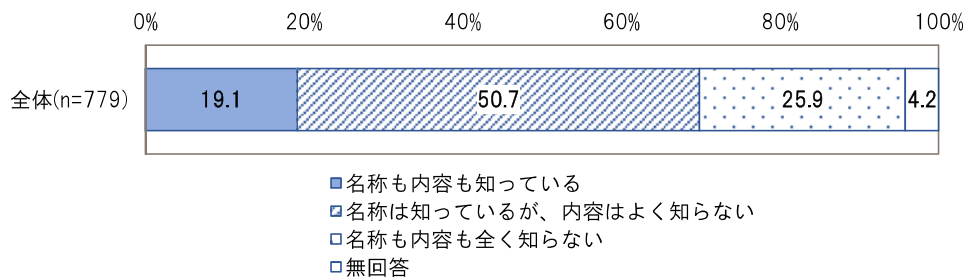
- ボランティア活動など地域の支え合いにつながる活動に必要な条件や仕組みでは、「自分の時間の都合に合わせて活動できること」が 77.3%と8割近くを占めて最も多く、次いで「自分の住む地域で活動できること」(74.5%)、「自分の体力に合わせて活動できること」(59.3%)、「自分の知識や経験、技能を活かせること」(35.3%)の順となっています。



## 6. 権利擁護に関する制度について

### (1) 日常生活自立支援事業の認知度

- 日常生活自立支援事業の認知度では、「名称は知っているが、内容はよく知らない」が50.7%と約半数を占めて最も多く、次いで「名称も内容も全く知らない」が25.9%となっており、「名称も内容も知っている」人は約2割（19.1%）となっています。
- 活動年数別にみると、3年未満では「名称も内容も全く知らない」が4割近くを占め、その他に比べて多くなっています。
- 活動頻度別にみると、活動頻度が多いほど「名称も内容も知っている」の割合が多くなる傾向がみられます。



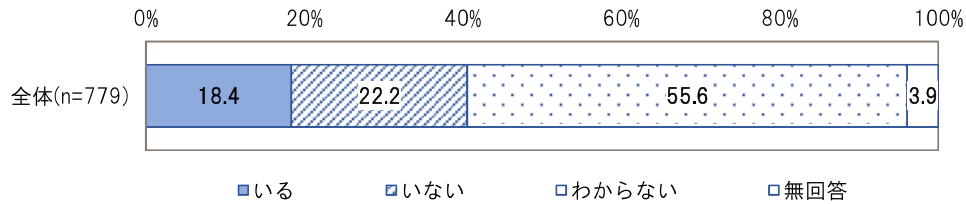
	回答者数 (人)	名称も内容も知っている	名称は知っているが、内容はよく知らない	名称も内容も全く知らない	無回答
(%)					
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>					
3年未満	169	14.2	<b>46.7</b>	37.3	1.8
3年以上6年未満	185	22.2	<b>48.6</b>	25.9	3.2
6年以上9年未満	122	20.5	<b>52.5</b>	20.5	6.6
9年以上12年未満	127	18.9	<b>54.3</b>	22.8	3.9
12年以上15年未満	67	10.4	<b>61.2</b>	20.9	7.5
15年以上	100	24.0	<b>48.0</b>	22.0	6.0
<b>活動頻度別</b>					
ほぼ毎日	33	30.3	<b>36.4</b>	21.2	12.1
週2～3日	273	22.0	<b>54.2</b>	20.1	3.7
週1日程度	281	17.4	<b>50.2</b>	28.5	3.9

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

## (2) 担当区域で日常生活自立支援事業の利用が必要と思われる人の有無

- 担当区域で日常生活自立支援事業の利用が必要と思われる人では、「わからない」が55.6%と半数以上を占めて最も多くなっています。
- 次いで「いない」が22.2%となっており、「いる」は2割程度（18.4%）となっています。
- 地区別にみると、「いる」では、大庄地区・立花地区でともに2割を超えてその他の地区に比べてやや多くなっています。
- 活動頻度別にみると、頻度が少ないほど「わからない」の割合が多くなる傾向がみられます。



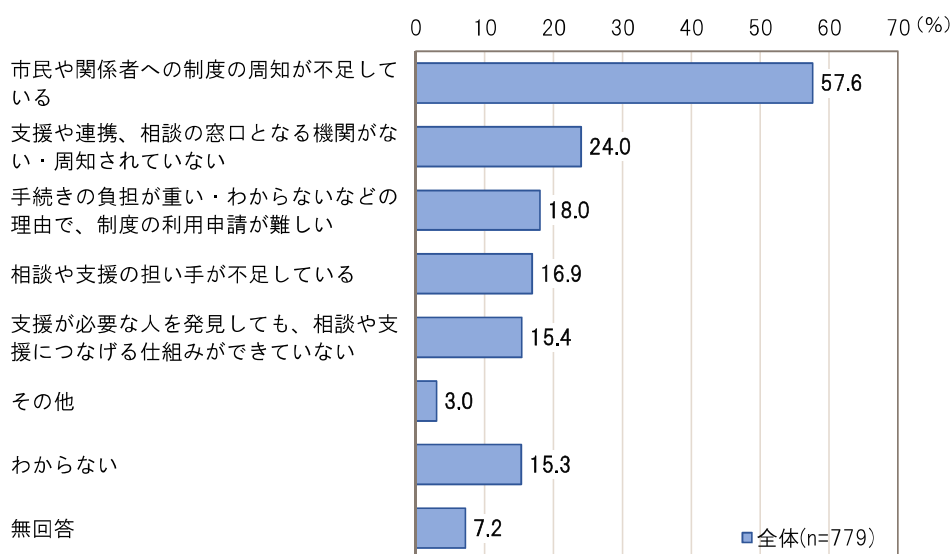
	回答者数 (人)	いる	いない	わからない	無回答
(%)					
<b>地区別</b>					
中央地区	120	11.7	19.2	<b>64.2</b>	5.0
小田地区	145	19.3	20.0	<b>54.5</b>	6.2
大庄地区	115	23.5	21.7	<b>51.3</b>	3.5
立花地区	157	21.0	24.2	<b>51.6</b>	3.2
武庫地区	112	16.1	22.3	<b>58.0</b>	3.6
園田地区	125	17.6	24.8	<b>56.0</b>	1.6
<b>活動頻度別</b>					
ほぼ毎日	33	18.2	33.3	<b>39.4</b>	9.1
週2～3日	273	21.6	24.5	<b>50.2</b>	3.7
週1日程度	281	17.1	23.1	<b>57.7</b>	2.1

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

### (3) 日常生活自立支援事業の利用における課題

- ・日常生活自立支援事業の利用における課題では、「市民や関係者への制度の周知が不足している」が57.6%と6割近くを占めて最も多く、次いで「支援や連携、相談の窓口となる機関がない・周知されていない」(24.0%)、「手続きの負担が重い・わからないなどの理由で、制度の利用申請が難しい」(18.0%)の順となっています。
- ・地区別にみると、大庄地区、武庫地区では「相談や支援の担い手が不足している」がその他の地区に比べてやや多くなっています。
- ・活動頻度別にみると、活動頻度が多いほど「支援や連携、相談の窓口となる機関がない・周知されていない」の割合が多くなる傾向がみられます。



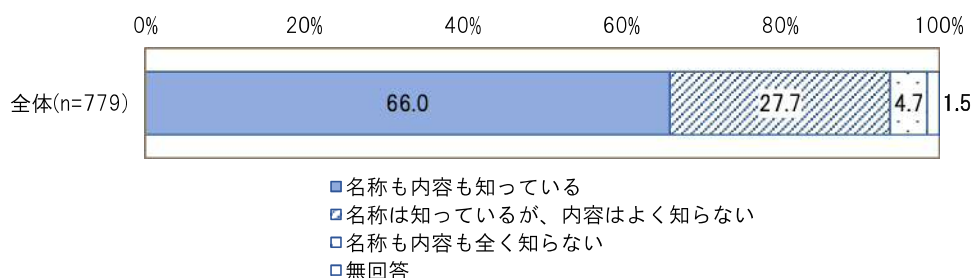
	回答者数 (人)	市民や関係者への制度の周知が不足している	支援や連携、相談の窓口となる機関がない・周知されていない	手続きの負担が重い・わからないなどの理由で、制度の利用申請が難しい	相談や支援の担い手が不足している	支援が必要な人を発見しても、相談や支援につなげる仕組みができていない	その他	わからない	無回答
<b>地区別</b>									
中央地区	120	58.3	18.3	20.8	14.2	10.8	-	16.7	8.3
小田地区	145	57.9	26.9	18.6	13.8	17.2	4.1	11.7	6.2
大庄地区	115	55.7	26.1	16.5	21.7	13.9	4.3	13.0	3.5
立花地区	157	56.1	26.8	15.3	15.9	17.2	1.9	17.8	8.9
武庫地区	112	59.8	19.6	14.3	20.5	12.5	1.8	17.0	9.8
園田地区	125	60.0	24.0	20.8	16.8	18.4	5.6	15.2	6.4
<b>活動頻度別</b>									
ほぼ毎日	33	54.5	33.3	15.2	27.3	15.2	-	6.1	21.2
週2～3日	273	64.1	25.6	20.1	20.9	19.8	1.8	7.7	6.2
週1日程度	281	55.2	22.8	15.3	13.5	13.2	4.3	18.5	5.0

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

#### (4) 成年後見制度の認知度

- 成年後見制度の認知度では、「名称も内容も知っている」が66.0%と6割以上の認知度となっています。
- 一方で、「名称は知っているが、内容はよく知らない」(27.7%)と「名称も内容も全く知らない」(4.7%)を合わせると、成年後見制度の内容を知らない人が3割以上となっています。
- 活動年数別にみると、活動年数が長いほど「名称も内容も知っている」の割合が多くなる傾向がみられます。
- 活動頻度別にみると、活動頻度が多いほど「名称も内容も知っている」の割合が多くなる傾向がみられます。



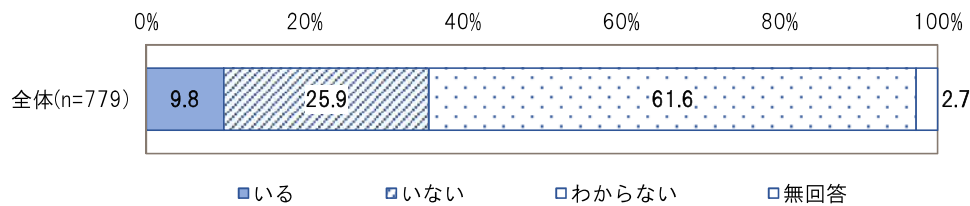
(%)					
	回答者数 (人)	名称も内容も知っている	名称は知っているが、内容はよく知らない	名称も内容も全く知らない	無回答
<b>民生児童委員としての活動年数別</b>					
3年未満	169	<b>53.8</b>	36.1	9.5	0.6
3年以上6年未満	185	<b>60.5</b>	31.4	6.5	1.6
6年以上9年未満	122	<b>65.6</b>	28.7	1.6	4.1
9年以上12年未満	127	<b>67.7</b>	26.0	4.7	1.6
12年以上15年未満	67	<b>80.6</b>	17.9	1.5	-
15年以上	100	<b>87.0</b>	12.0	-	1.0
<b>活動頻度別</b>					
ほぼ毎日	33	<b>81.8</b>	12.1	-	6.1
週2～3日	273	<b>69.2</b>	25.6	4.4	0.7
週1日程度	281	<b>65.1</b>	30.2	3.6	1.1

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

**(5) 担当区域で成年後見制度の利用が必要と思われる人の有無**

- ・担当区域で成年後見制度の利用が必要と思われる人では、「わからない」が61.6%と6割以上を占めて最も多くなっています。
- ・次いで「いない」が25.9%となっており、「いる」は約1割（9.8%）となっています。
- ・地区別にみると、「いる」では、小田地区で1割を超えてその他の地区に比べてやや多くなっています。
- ・活動頻度別にみると、頻度が多いほど「いる」の割合が多くなる傾向がみられ、頻度が少ないほど「わからない」の割合が多くなる傾向がみられます。



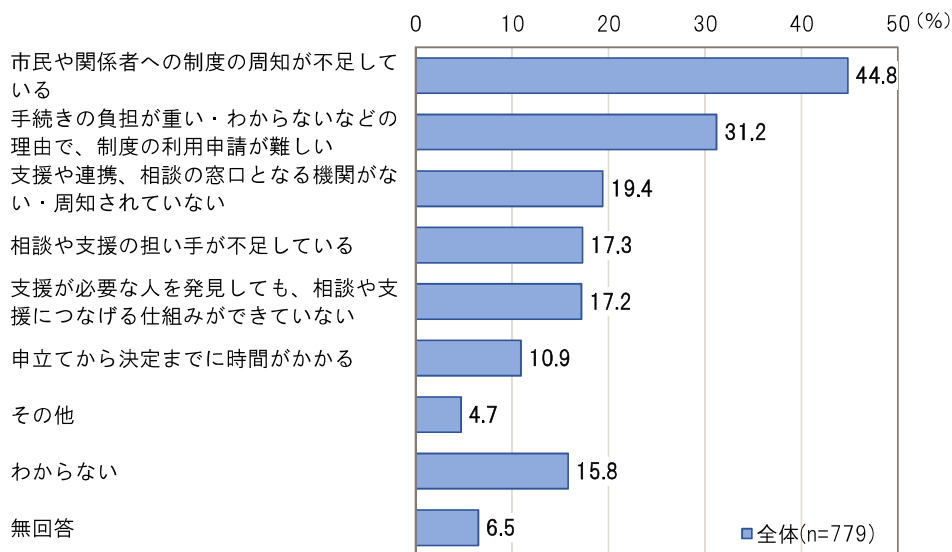
	回答者数 (人)	いる (%)	いない (%)	わからない (%)	無回答 (%)
<b>地区別</b>					
中央地区	120	9.2	24.2	63.3	3.3
小田地区	145	13.1	23.4	60.7	2.8
大庄地区	115	8.7	33.9	56.5	0.9
立花地区	157	8.9	28.7	59.9	2.5
武庫地区	112	8.0	20.5	66.1	5.4
園田地区	125	9.6	24.8	64.0	1.6
<b>活動頻度別</b>					
ほぼ毎日	33	15.2	33.3	45.5	6.1
週2～3日	273	14.3	27.5	56.8	1.5
週1日程度	281	6.4	27.0	64.1	2.5

※不明がいるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。

## (6) 成年後見制度の利用における課題

- 成年後見制度の利用における課題では、「市民や関係者への制度の周知が不足している」が44.8%と4割以上を占めて最も多く、次いで「手続きの負担が重い・わからないなどの理由で、制度の利用申請が難しい」(31.2%)、「支援や連携、相談の窓口となる機関がない・周知されていない」(19.4%)の順となっています。
- 地区別にみると、小田地区では「手続きの負担が重い・わからないなどの理由で、制度の利用申請が難しい」、立花地区では「支援が必要な人を発見しても、相談や支援につなげる仕組みができていない」がその他の地区に比べてやや多くなっています。
- 活動頻度別にみると、活動頻度が多いほど「手続きの負担が重い・わからないなどの理由で、制度の利用申請が難しい」の割合が多くなる傾向がみられます。



	回答者数 (人)	市民や関係者への制度の周知が不足している	手続きの負担が重い・わからないなどの理由で、制度の利用申請が難しい	支援や連携、相談の窓口となる機関がない・周知されていない	相談や支援の担い手が不足している	支援が必要な人を発見しても、相談や支援につなげる仕組みができていない	その他	わからない	無回答
<b>地区別</b>									
中央地区	120	48.3	33.3	20.0	20.0	13.3	9.2	5.0	16.7
小田地区	145	46.9	40.0	16.6	15.9	19.3	17.9	4.1	13.1
大庄地区	115	39.1	29.6	16.5	17.4	14.8	12.2	5.2	17.4
立花地区	157	37.6	33.1	22.3	16.6	24.2	7.0	2.5	16.6
武庫地区	112	49.1	18.8	22.3	18.8	14.3	8.9	2.7	18.8
園田地区	125	51.2	29.6	19.2	16.8	14.4	10.4	8.0	12.0
<b>活動頻度別</b>									
ほぼ毎日	33	42.4	45.5	21.2	21.2	21.2	9.1	3.0	9.1
週2～3日	273	46.5	35.9	20.9	21.6	18.7	12.8	4.8	12.1
週1日程度	281	44.1	27.4	21.7	16.4	18.1	10.7	5.7	17.1

※不明があるため、回答者数の合計数は全体の回答数と一致しない。

※1番目に割合の高い回答を「太字+濃い網掛け」とし、2番目に割合の高い回答を「薄い網掛け」としている。